

育教の兒幼

號一十第 號月一十 卷九十二第



東京女子高等師範学校内会
日市幼稚園協會

廣島高等
師範學校教授
文學博士
久保良英
先生新著

兒童研究所紀要
卷十三

久保良英 次第上
性行検査法の試み
作業に現はれる注意の形に就て

児童の身體的及精神的に發育に及ぼす季節的影響の研究

尋常小學校に於ける算術應用問題の分類
久保良英

入學當初智能検査に關する研究的考察 一一
青年期に於ける自己意識に就て
博士 桂博文 文學上
ドクトルオブフィロソフィー
久保良英 増田幸一

1234合轉 洋綵•背皮•紙數一千百餘
定價九圓五錢_五拾五錢_三料_一千餘

用
品
要
8 9 10 合輯

兒童研究所紀要

團體的智能檢查用紙

BA
式式

大判全二冊
定價各冊參錢

本用紙は久保先生
検査用紙團體の用

に出来る。兒童研究所
唯一の用具。

國教育的に、先進國に於ける歐米諸國に於ては、既に將來國家の構成に重要な位置を占むるべく兒童を心理的、生理學的に研究して純粹なる學的立場から益々其効果を收めんと企つて右施設に亘る巨額の費用を擲つて惜まざる今日獨り我邦に於ける該機關の絶無なるを概し、久保博士等同好なる士が私財を投じて設立せられたる研究の根柢は、所の貴重なる發本研究家との如きの権威恒に、最新智教を推奨せらる。

次目容内卷二十

送大判洋裝全冊一百三金價定圓五拾八錢

發行所中文圖書館

廣島高等師範學校教授

文學博士

久保良英先生新著

四六判全一冊洋銀
定價金貳圓 送料金十八錢

刊 新

愛兒良教の教養

本書の全文
は悉く眞摯
なる學者の
児童教養實
驗記録で有

久保博士の令息良教君は僅か九歳の年齢を享けて其餘りに短き生涯を終られた。博士は本書自序の一節に「良教は私の學位論文の中の翻語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前博士の児童研究のよき伴侶でありよき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新たにして以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度い」と敬虔なる學者の願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に児童心理の一の大権威、這個の純情を以て綴られた本書の一宇一句は児童研究としての學的價値は言ふに及ばず、尚且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信す。

文學博士

好評赫及

久保良英著

實驗心理學精義

三三
版版

圖簡單なる行動篇

定菊判全

冊紙數八百

貢料捕金廿圖七貳百錢

久保博士の實驗心理學精論篇は蓋し精神界の至寶である。著者は前篇簡單なる行動相篇は實驗精神界の至寶である。日本唯一の海防兒童研究所を創設し銳意耕耘として著者は前篇簡單なる行動相篇を著しその研究方法は質的及び量的兩者交互に統合しては決して隔離的私見を貪らぬものとする所は周到懸切に詳述せるものなるを以て研究發表が、唯單に單なる標的たるに止めず實際的應用方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育、軍隊、工業等の集國的當事者に取つて研究する所等は必ず學術的指針として貴重なるものである。如上關係者の外文檢索讀すべき資料を乞ふ。



日本幼稚園協会編輯會の兒幼教育

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡鄉甫
附屬幼稚園主任事務 堀藏

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ル
ヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ
關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノ
トス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五
錢ヲ輸出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業
ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員
トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會
ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ
請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場
合ニヨリ隨時休會スルコトナ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、幼兒教育ニ關スル研究及ビ調査
開催
- 二、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ
以上ノ同意ナ得ルニアラザレハ變更スルヨ

一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル
事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
會長一名 會務ヲ總理ス

主幹一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌
理ス

幹事若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ
分掌ス

評議員若干名 重要ナル事件ニ關シ會長
ノ諮詢ニ應ズ

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノト
ス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ月年ヲ期
シテ會長ヨリ推舉スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ
又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二
以上ノ同意ナ得ルニアラザレハ變更スルヨ

ト得ズ

一、雜誌發行（每月一回）



號一十第一 幼兒の教育 卷九十二第

—(次) 目—

口繪 ハウ女史

箱の作家(一)、(二)

秋の運動會(東京女子高等師範學校附屬幼稚園)

幼稚園の目的論(一).....

堀

七

藏

二

我國幼兒教育の功勞者.....

氏

原

銀

九

保育談話會——(秋期に於ける觀察).....

倉

橋

惣

三

三

ハウ女史.....

よ

し

こ

四

七

園外保育の實際(承前).....

大

川

ふ

み

六

十 一 月.....

よ

し

こ

七

保育座談會(粘土).....

大

川

ふ

み

六

箱の作家.....

及

川

ふ

み

六

セルリの栽培(八).....

大

岩

金

七

童話二ツ(醉ぱらひ猫、猿と燒栗).....

水

谷

年

惠

古

遊戯くるくるく.....

士

川

五

郎

七

雑錄.....

第三十六回關西聯合保育會・第一回靜岡縣保育部總會・頌榮幼稚園並ニ保母傳習所創立四十年紀念祝賀會とハウ女史幼稚園教育に對する記念講演會

女子學習院
校

岡

野 榮・丹羽禮介先生共著

學校家庭

手有圖畫大集と其の描き方

菊形作定送
洋畫二四金
綴三千圓廿
百二十八七
頁葉餘錢

寫生、略畫ク
レヨン畫、水
彩畫、圖案等
學校美術教
育の大展覽

唯單に寫生のみを圖畫教育の目標視するのは大なる錯誤です。更に觀察力、考究力
本來の目的を達すると共に他面又圖畫科が其他學科とよく關聯して直觀教授や實物教授
授の能力を發揮し得る譯です。本畫集は之等の目的に於て小學校の各學年、各學科書の綜
修身、國語、國史、理科、地理等の國定教科書の綜てに取材し、クレオン畫、着色画
圖案畫、毛筆、鉛筆の略畫の三種に依つて描く所無慮千數百、而して卷頭數十頁に亘
りその描方と各科に對する應用の方法を述べてありますから本書が圖畫科教典全集
としての全能は勿論小學校各學年の全科に亘り實物教材として其應用は實に自由自在
在です。初等教育家及び一般家庭の御心備御推薦を乞ふ。

新刊
家庭

圖畫描き方
基本

と其の
畫集

描き方

と其の
畫集

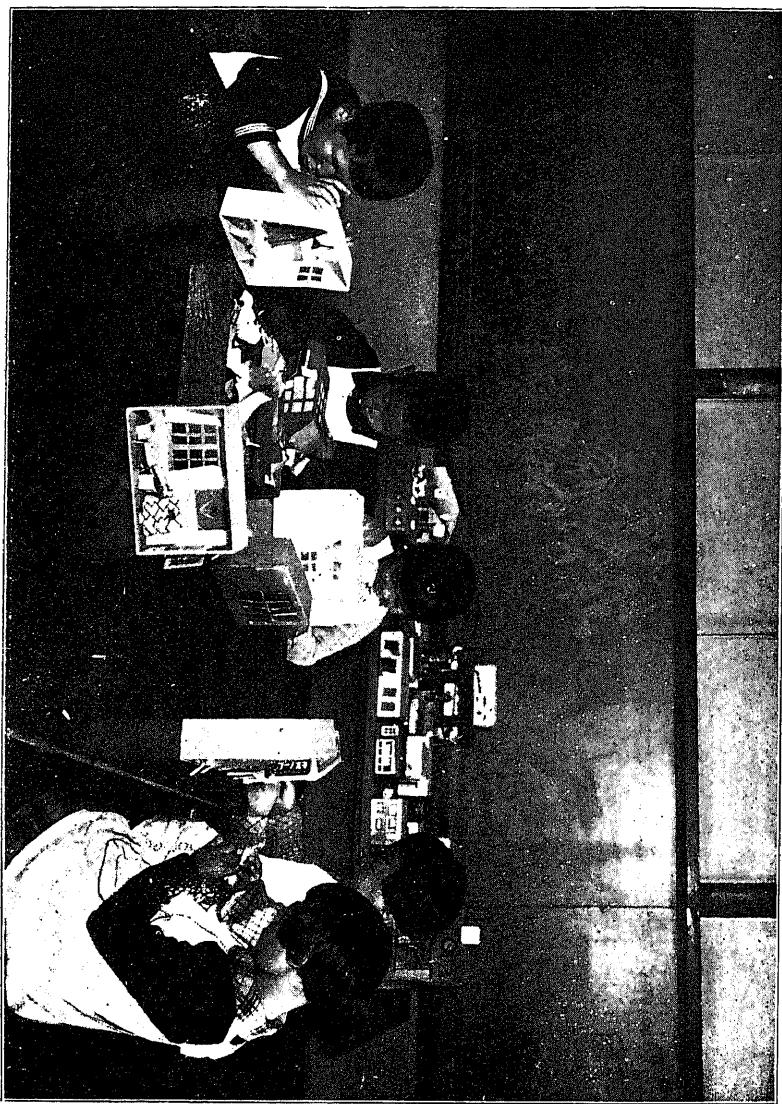


ハウ女史

箱の老家（一）

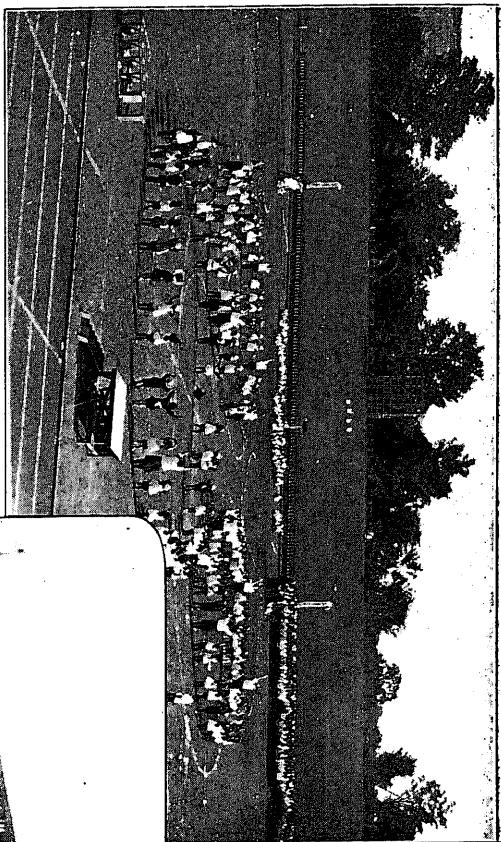


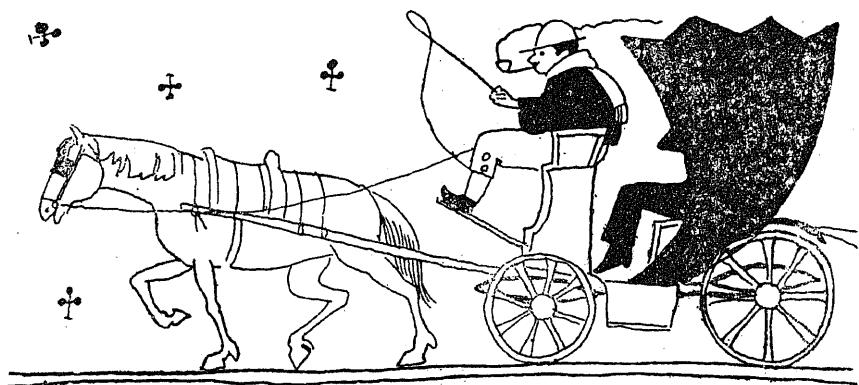
箱の老家(二)



秋 の 運 動 會 (東京女子高等師範學校附屬幼稚園)

風 船 と り 競 走 →





號一十第一 幼兒の教育 卷九十二第

昭和十四年一月

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雑誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて產れたもので有ります。

幼稚園の目的論(一)

堀 藏

一

幼稚園の目的などと今更改まつて論ずることは如何にも野暮なやうであります。私の眼に映する幼稚園の實際を考へるとお互に幼稚園の目的をハツキリ意識する必要があるやうに思はれます。毎日幼稚園に勤めてゐるときには幼稚園の目的は十分承知してゐる筈であります。さてあまりに明白なるが爲に却つて眞の幼稚園の目的から遠ざかつたやうな弊が皆無ではないと掛念せられるのであります。

さて幼稚園の目的といへば、幼稚園令第一條にある

幼稚園ハ幼兒ヲ保育シテ其ノ心身ヲ健全ニ發達セシメ善良ナル性情ヲ涵養シ家庭教育ヲ補フヲ以テ目的トス

とありますから誰でも幼稚園を考へるときには直に想起すべきことであります。この第一條では幼稚園は幼兒を保育することを目的とすることを先づ第一に上げてゐます。幼稚園教育の對象は言ふまでもな

く幼兒であります。が、世間にはあまり明白すぎる幼兒をだしに使つて親を教育せんとする滑稽を演ずる人があります。尤も將を射んと欲せば馬を射よで、幼兒を教育するには幼兒を幼稚園へ出すか出さぬかもよつてゐる父兄に幼稚園の重要な目的や使命を知らしめる工夫を講ずることは結構なことであります。幼兒の保育を十分になし、幼稚園の目的を達するが爲に父兄保護者の理解を得、共力を必要となすこと無論であります。しかしそれは幼稚園の目的を達する方便で、父兄の歓心を買ふことが幼稚園の目的ではありません。幼稚園はどこまでも幼兒を保育することを唯一の目的とすべきものであります。そして幼兒を保育することは幼兒の心身を健全に發達せしめ、善良なる性情を涵養することが目的であります。換言すれば幼稚園に於ける幼兒保育の目的は幼兒の心身を健全に發達せしめ善良なる性情を涵養することが目的であります。この幼稚園令第一條には毫も唱歌を教へることが、幼稚園の目的であるとか手技をさせることが目的であるとも、どんな遊戯を教へねばならぬとも規定してありません。勿論幼稚園で藝術教育を行ふことが目的でなく、職業教育を施すのでもありません。また小學校の諸教科の教授をなすのが幼稚園の目的ではありません。幼稚園令にはどのケ條にも何を教へねばならぬ等とは微塵もありません。只幼兒の心身を健全に發達せしめ、善良なる性情を涵養することが唯一絶對の目的となつてゐるだけであります。

一一

尤も幼稚園令施行規則には幼稚園の保育項目は上げであります。しかし保育項目が幼稚園の目的であるとは少しも意味して居りません。試みに幼稚園令施行規則第一條を念の爲に申上げませうか。

第一條 幼稚園ニ於テハ幼稚園令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ幼兒ヲ保育スベシ

幼兒ノ保育ハ其ノ心身發達ノ程度ニ副ハシムベク其ノ會得シ難キ事項ヲ授ケ又ハ過度ノ業ヲ爲サシムルコトヲ得ズ

常ニ幼兒ノ心情及行儀ニ注意シテ之ヲ正シクセシメ又常ニ善良ナル事例ヲ示シテ之ニ倣ハシムコトヲ務ムベシ

第二條 幼稚園ノ保育項目ハ遊戯、唱歌、觀察、談話、手技等トス

この施行規則には律動遊戯を授けねばならぬとも表情遊戯でなくてはならぬとも、リトミックがどうといふやうなことがどこにもありません。またバッタを教へねばならぬともどんな唱歌を教へるのが幼稚園の目的ともありません。却つて幼兒の保育は幼兒の心身發達の程度に副しむべきもので、幼兒の會得し難き事項を授けてはならぬ。また過度の業を爲さしむることが出來ないと、現時の幼稚園で恰も幼兒の會得し難き事項を受けたり過度の業を爲させたりしてゐるが如く、そしてそれはいけないことで禁止

すべきものであるが如くにもとれる文章であります。こんな施行規則は小學校令にも中學校令にもまた高等女學校令にもないところであります。今繁雑をさけて小學校令と小學校令施行規則を引用いたしませう。注意して見ると幼稚園令との相異が明白となります。

小學校令第一條には

小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並ニ其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

とあります。そして同施行規則第一條には次の如く説明してあります。

第一條 小學校ニ於テハ小學校令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ兒童ヲ教育スベシ

道徳教育及國民教育ニ關聯セル事項ハ何レノ教科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

知識技能ハ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ選ビテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナラシメンコトニ務ム
ベシ

兒童ノ身體ヲ健全ニ發達セシメンコトヲ期シ、何レノ教科目ニ於テモ其ノ教授ハ兒童ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメンコトヲ要ス。

男女ノ特性及其ノ將來ノ生活ニ注意シテ各々適當ノ教育ヲ施サンコトヲ務ムベシ。

各教科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ要ス。

更に第二條以下に於て各教科目の要旨を列舉してありますが、この小學校令並に同施行規則と幼稚園令並に幼稚園令施行規則とを比較すると、その相異する點が明白になりませう。即ち小學校令並に同施行規則では「生活に必須なる普通の知識技能を授く」ことが小學校の重要な目的であることを明示していますが、幼稚園令並に同施行規則では特に「幼兒の保育は其の心身發達の程度に副はしむべく、其の會得し難き事項を授け、又は過度の業を爲さしむることを得ず」と消極的な規則となつて居ります。即ち小學校の方では「生活に必須なる知識技能を教授せよ」と規定し、幼稚園の方では「心身發達の程度に副はぬ事項を授けるな」と禁止の意味を含ませてゐるのであります。正に小學校は積極的に教授を規定し、幼稚園では消極的に知識技能を教授することを制限してゐるのであります。

三

西暦一八三七年フレーベルがブランケンブルヒの村にキンダーガルテンを開設し、三歳乃至七歳の幼児を收容し、一八四〇年キンダーガルテンの名稱を發表したのであります。そして「幼兒は實に年若き草木に外ならず、この草木を培養するのがキンダーガルテンである」と考へたものであると申します。大抵の方が御承知の如く獨逸語でキンダーは幼兒、ガルテンは花園でありますから、フレーベルは「幼兒を培養する花園」として考へたのでそれを譯して我國では幼稚園と命名せられたものであります。今

日幼稚園教育をなすものは往々にしてフレーベルが創意した恩物を教へることが幼稚園教育の眞髓であるとなるものであるが、また全然フレーベルの教育精神を無視するものが少くないやうであります。しかしフレーベルの眞精神はどんなであつたかその言を通じて吟味せねばなりません。

「眞に満足すべき人間の教育は人を兒童として早くより生活し、それ自身に於て生活し、活動的であり且つまたそれ自身に於て活動的に且つ働くやうにすることを要求するものである」といつてゐます。幼稚園で幼兒に「お行儀よくして先生のお話をよくお聞きなさい。この積木の上に長い赤い積木を載せなさい。出来ましたか。その次にこの球。この色は何ですかいつて御覧なさい。サア皆一齊に。そう、それでよろしい。その球を積木の横に置きなさい。誰さん、それは違つてゐます。ア、誰さんも違つてゐます何です。誰さんは人を引ばつたりして。手を膝の上に置いてお行儀よくしてゐなくてはいけませんよ。そう、また積木をいぢりましたね。どうもお行儀が悪くていけませんね」といふ工合に一時も一時も幼兒に教授することが果してフレーベルの人間の教育に合致してゐる幼稚園の保育法であります。

またフレーベルは「生活に於て、また爲すことを通して事物を學ぶことは單に言葉の上で觀念を傳達することによつて事物を學ぶよりも遙に發展を助け、培養を助け、力を富ますものである」といつてゐます。農村などの幼稚園で電車を見るなどの出來ない幼兒に電車通を横切るとさの掛圖を示して交通整理の歌を教へたり、都會の幼稚園で、山中で木材を切出して川を流木する掛圖を示して、木材伐出の教

授をなすことが幼稚園の保育項目でありませうか。そんな考はフレーベルが夢想だもしなかつたのではありますか。

フレーベル氏は今日の心理學を學んだ譯ではないが「人間發展の初期階段、即ち幼兒の階段は主として生活の階段である。唯だ生活するための生活それ自身の階段であつて、遊戯の時期である次の兒童の階段は學習の階段であつて作業の時期である」といつてゐます。幼兒と兒童とが明白に區劃的に判別することは出來ませんが、しかし今日の幼稚園の如く、小學校でも程度の高いやうな幼兒に難解な知識を授けることの不當なことを十分に言明してゐるものといはねばなりません。その他フレーベルの語錄には吾々の指針とすべきことが多いのであります、茲にはその一々を列舉する必要がありますまい。要するにフレーベルが幼稚園を設立せる目的精神はどこまでもキンダーガルテンの言葉に含蓄せられてゐることを考へねばなりません。

良 寛

白たへの衣手さむし秋の夜の

月なか空に澄みわたるかも

氏原銀

我國の幼兒教育者として夙に從事せられし氏名並に其功績を普く世に紹介致し度就ては廣く全國に涉り取調べたる積りなるも、何分にも見聞の狭く洩れたる氏名も有るべく、此粗漏なる點を爰に御断り申上置く。

其氏名のよく世に知られると、餘り知られざるとあり、又其功績の如何も同様なり、依て其功績の各概要ながらも、可成詳細に記るすべき筈なるも、其各氏に對する交際上の深淺により、其事情を知るに粗密あり、元より概略の記事なるも、中には其盡ざざる點も之れあるべく、依て此届かざる事を一言御断り申上置く、尙男子の幼兒教育者

としての功勞者並に、外國人にして、我國の幼兒教育に盡されたる功勞者の事は、他日に譲り、女子の幼兒教育功勞者のみを記する事となす。

幼兒教育の功勞者氏名 いろは順

水戸市	豊田 芙雄氏
東京市	田中 フサ氏
	長竹 クニ氏
	野口 幽香氏
	甲賀 富士氏
神戸市	雨森 鋤氏
	下田 タヅ氏
	和久山キソ氏
小笠原松枝氏	
小磯 英氏	
榎本 常氏	
望月 クニ氏	

堺市 片岡 春氏
福岡市 萩野 久氏

静岡市 宇式 かん氏
臺灣宜蘭街 櫻川イチ氏

甲府市 進藤 ツル氏
京都市 司馬 ノブ氏

以上十八名

内退職者 十名 内社會事業に活動する者三名

就職者 八名

年齢 八十歳以上 一名 七十歳以上 二

名 六十歳以上 十五名

以上の諸氏は、昔時保育事業上供給不備の時代に於て、能く其職に耐えられ、其永き年月に於ける出來事、例へば、園の維持に關する事、經費に關する事の配慮、園児より起る種々の苦心、其他教育思潮に對する研究等に職責を全ふせられ、我國幼稚園の命脈を繼續し、幼兒教育今日の基礎を確立せられたる、多大の功績に對し、吾人は敬意を表し、多々感謝して措く能はざる次第なり。

我國保育功勞者の略歴 いろは順

一 豊田英雄氏 水戸市

明治九年我國始めて、東京女子師範學校（現在女子高等師範學校前身）附屬幼稚園設立の際、我國最初の保姆として就任せられ、當時我國に於ては唱歌遊戯皆無の時代なりしかば、之れが創作に

苦心せられ、今日の基礎を立てられ、明治十二年鹿児島縣立幼稚園創設に付き嘱託として赴任せられ、後開園の任務を了へて歸京せられ、高等女學校に就職、舊藩主徳川侯の、伊太利全權公使として赴任せらるゝに付き辭して隨從して彼地の、教育并に風俗等を視察せられ、後公使と共に歸朝せられ、宇都宮水戸等の高等女學校に奉職此時功により、瑞寶章を拜受せられ、引退後今日水戸市に

在住、現今水戸市の、愛國婦人會副會長、同市私立女學校同縣下農業托兒所等の爲めに、八十四歳の高齢益々御健やかに盡瘁せらるゝ事は實に感服の至なり。

二 荻野 久氏 福岡市

福岡市に於て、私立幼稚園を開設、最初は日露戰役の際出征軍人の子女を集め、或る寺院を借りて保育を始められ後、氏の邸内に園舎を新築、數十年間熱心に保育を續けられたるも、健康上引退の止むを得ざるにより、其園舎建物の一切を市に提供寄附せられたる篤志家なり、尙氏の行爲に付特記すべき事は、數十年間保育に從事せらるゝ傍ら、其母堂の不隨なる看護に盡されたる事は、皆人の感服する處なり。

三 小笠原松枝氏 神戸市

明治八年東京女子師範學校第一回の入學者として卒業後、東京神戸大阪各地の幼兒教育に從事せられ、大阪市幼稚園在職の際は、保姆養成に盡力せられ、現今は神戸市兵庫北部幼稚園に、主任として熱心に從事せらる。

四 和久山キソ氏 神戸市

神戸市の有名なる、私立頑桀幼稚園保姆として其設立者、米國人エエルハウ氏に従ひ熱心に保育に従事せられ、氏は英語に堪能なる、能くハウ氏の保育主義の會得し易く、一方ハウ氏の幼兒に対する言動も氏によりて能く傳達せられ、其他同園附屬保姆養成所生徒の、ハウ氏講義の通譯に、又ハウ氏外交の通譯に、氏の力に待つ事多く、實に頑桀幼稚園今日の發展は、氏の助力によるものと言ふべし。其保育法を參考すべく諸方より、來觀する者多きは故なきに非るなり。氏は保育事業視

察の爲め米國に行かれ、歸朝後大患にかゝられ、未だ全癒に至らず、併し園務を見る事には差支へなし、何卒早く全快ある事を祈る。私の大阪に在職中は、屢此の頤榮幼稚園を參觀して、保育上資する處多かりき。

五 片岡 春氏 堺市

最初大阪市東區汎愛幼稚園主席保姆として就職後堺市に轉ず。之れは同市に數年前立派なる幼稚園を開き新築開園せしも、其成績面白からず終に廢園となりしを以て、更に市民に満足を與ふ可き、幼稚園設立の任に選ばれて、赴任爾來誠實にして俠氣ある氏は鋭意其保育に努力の結果終に、其良成績を擧げて、市民に満足を與へ、市内に二ヶ所の増園を見るに至り、茲に全責任を果され、成功引退せられて現今堺市に在住せらる。

六 田中フサ氏 東京市

東京女子高等師範學校卒業にして、最初東北の女子師範學校に奉職せられ、歸京芝共立幼稚園主席として數年間保育に從事せられ、傍ら東京府教育會附屬保姆養成所講師として、多數の保姆を養成、此養成所出身者にして、東京市に於て好成績を擧げつゝ有る保姆多し、眼病の爲め引退、市外に立派な邸宅を建てられ、居住せらる。大正十五年、帝國教育會より、其功勞を表頌せられたり。

七 長竹クニ氏 東京市

東京ち茶の水幼稚園保姆實習科の卒業にして、大阪市に於て、公立として第一番に開園せる、東區愛珠幼稚園に就職せられ、其園創立日尙淺く、諸事整頓せざる時代に在りて、能く之れを整理し其保育事業を發展し、今日大阪市屈指の幼稚園と

し、又第一番の設立として、古き歴史を有する園

としての、基礎を建てられたるは、全く氏の功績

によるものなり、該園は今日良後任者なる、稻葉

ウメ氏により、益々隆盛に光輝を添ふるに至れり

附言 此古き歴史を有する、愛珠幼稚園には、全國の他に於て見る事の出來ざる、古き参考品を藏せり、右は、明治九年お茶の水幼稚園創立の際同園にも之れと同様のもの有りしも、震災の爲め焼失して、今日にては唯、此愛珠幼稚園のみ所有せる、我國幼稚園の歴史沿革上参考となすべし、實に貴重品にして得難き物品と言ふべし。

其品目

和琴又ハ
絃琴
和琴を彈く
るに用ふ 筝拍子竹把の木で作り
唱歌の際拍つ物 調子笛調子を
取る者
サギ

幼稚園記 幼稚園創立法 二十遊嬉 幼稚園

舊唱歌譜本

遊戯家鳩の圖額面。二十遊嬉幼兒恩物玩弄の圖

額面。衣食住に關する額面數枚。

以上

八 宇式かん氏 静岡市

静岡市に於ける、最初の保育者にして、縣立女子師範附屬幼稚園に就職、傍ら保姆養成に當り十數年間熱心に從事せられ、後辭して私立櫻花幼稚園を開設爾來幼兒の滿員を告げ、其幼稚園の保護者并に後援會の幹部は、皆昔時氏の保育せられし人々にて、其組織の、確實にして親情の籠れる事は他に類を見ざる處、之れ氏の多年斯道に盡瘁せられし、功績より報いられし者、尙氏は六十七歳の高齢尙健やかに、保育の監督に當り、主任者として、令嬢林氏の熱心に從事せらるゝ事は、該園の爲め、實に慶賀の至りに堪えざる次第なり。

(以下次號)

保育談話會

(秋期に於ける觀察)

十月五日、土曜日の午後、東京女子高等師範學校附屬幼稚園遊戲室に於て、東京地方各幼稚園の方々に御出席を願つて保育談話會を致しました。話題は『秋期における觀察』堀主幹の挨拶に始つて次のように諸氏の御發表がありました。

目白幼稚園 和田 實氏

秋の觀察について、實驗談を話せよとの御註文
として、何か御参考になることをと考へて見まし
たが、大した事も考へつきません。只、自分の感じ
ますことを申上げて貢をふさぎたいと思ひます。

一體、秋は自然の動物、植物の中で子供のあら
ちやになるものが多い。夏から秋にかけて一番多
いです。植物は實となり、畢りとなる所であります。

すし、又昆蟲はこの盛りで影を潜めをわる時であ
ります。草木の葉や實はいろいろに變りますので
子供のあそびのあもしやの材料が澤山出ます。「觀
察」をやかましく考へると六つかしい議論が言は
れる様です。が、私は餘りやかましいものにした
くない。觀察には斯く氣を注げねばならぬと理屈
から云へば澤山ありませうが、——殊 理科方面
から見れば尙更のことですが——私は成るべくそ
の理屈の方はのけておきたい、そして子供の遊び

の材料には何がなるかを見てゐたい。櫻の葉や紅葉或はベッタが、或はいもむしが蛹に變化する途中、木に上つたり、木から下りたりするのが、何んなに子供の遊びの材料になるかを眺めたい。

ここで申上げたいのは幼稚園の觀察をやかましく扱つて理論的に、分解したり綜合したりすることは、理科教育方面の人多いと云ふことです先日、ある師範學校教育學の先生が、觀察の方法は論理學に示してある、幼稚園の觀察を色々と研究する必要はない。論理學にあるぢやないか。物を分解してみ、又、綜合し、歸納するんだといふことで「一もなく二もなく片付けてしまつたのにはびっくりしました。幼稚園の遊びを論理學的に扱つたのでは遊びにならません。児童教育は誰にでも口が出せる。母親であれば誰にでも多少の意見がある。そんな仕事だから、考へ無しの方が矢鱈にいろんな事を云ふのを一々御尤もと聞いてると

飛んでもない事になつてしまふ。先の教育學者でさへあの通りです注意せねばならませぬ。夫れも、子供のあそびとは見てはゐるが、將來は一つの自然理法を教へる所に歸着するのだからといふ積りでやるならば、まだしも差支えないと、幼稚園の觀察は分解して、綜合す可きものときめて扱はれたのでは子供を遊ばせるといふ本體が、何處かに飛んで行つてしまひます。私は、幼稚園の觀察は何處まで子供の見物遊びでなくてはならぬと考へてゐます。

秋はあそぶ材料が澤山あります。實は遊び切れぬ程澤山あるから餘り澤山の材料を入れ過ぎやしないかと思ふ。それで夏と秋は目で觸れる以外に他から取入れることを致しません。非常に澤山ですから、目にふれる丈で十分。これ以上に持ち来る必要がない。成るべく秋は自然に目につく所を入れて楽しく遊んで満足して居たいと思ひます私

の園は郊外近くだからかも知れません、市中に比べると自然物が多いわけもありませう。市内の自然物の渺い幼稚園では多少様子も違ひませうが、斯う考へて大したあやまちはなからうと思ひます。

昆蟲のうちでは秋に命を捨て、一生を畢るものが多い。「かまきり」も今は旺に出て居りますが夏の青い色が枯葉色に變り、大きなお腹をして最早活動もにぶり死期に近づいて居ります、そのかまきりや、他にバッタやいなご等といぢくつて遊んで居ります時は、春、夏の様に干渉しないで爲すまゝに任しときます。多くの場合、なすに任せますと殺すことになりますが、その結果は蟲を解剖することになつて、蟲を知つて來ます。或る所までは許されるのぢやないでせうか。何うせどの道捨てる命です。子供の何かの遊びになり、子供の實驗慾、經驗慾を満足させてやつていぢやないかと思ひます。

草木の實、木の葉にも遊びの材料になるものが多いたです。どんぐり、栗、草花の種、實、葉の色の變つた物等手工の材料として、舟、草履、首飾り、はりつけになります。青桐の實で、舟を作ります。あの夢の變化した葉の様な形をした桐の實は舟の形をしてゐますし、その周りについてゐる丸い實は、水に浮べると面白いものです。これ等は十分に子供に持たせて遊ばせることが必要です秋の保育は樂です。材料を心配して集める必要がないだけ十分に持たせられます。それで或る所迄解剖的にいちくり、ほごす——六つかしくいへば分解も何等かの益を與へようと思ひます。

この秋は、自然物を以ての遊びの豊富な、子供にとつて幸なときであります。出来ることならば郊外や野原に行き、十分に遊ばせることが必要です。幼稚園としては、一概には云はれませんが、幼兒教育からいへば秋の好天氣に家内に閉ぢ込め

にす野原に放す時であります。

準備もない、どうとめない話ですが、自分の何時も考へる所を、一寸、申上げました。

○

鞠町區番町小學校
附屬幼稚園 檜山京氏

只今は秋の觀察に就いて、日白幼稚園の和田先生から有益な御意見を承りましてまことに有難く存じます。私はかつて爲た事又昨日今日爲て居ります一、二の實際をお話して皆様の御批判をいたどき度いと思ひます。觀察といふ時間を設けるで

もなく、必ず爲なればならない觀察事物や事柄

を規定する事もない私の幼稚園では、すぎた記録

即ち昨年の保育日誌が唯一の参考なり桑なりでございます。しかし之等は文字通り桑なり参考なりにすぎないのであって、季節の變化天候等は年毎に同一ではなく又、それに接する幼兒の興味や氣

持もそれ／＼の場合に依て變化し記録の通りを持たない場合も多々ございます。

また、觀察といふ事が保育時間中の何處ででも行はれ、他のすべての保育項目と切り離す事なしに實行されます時これ丈を抜き出す事はむづかしいので、「秋の觀察」は即ち「秋の保育」といふ事になります。「秋の觀察」は、木の實拾ひ、トンボ取り、紅葉ひろひ、等自然の恩恵の豊かな秋には、ことに一點の雲なく晴れ渡た朝など、成人の方が家根の下にぢつとしてゐる事が出来なくなります。

成人、「招魂社へ行きませう。」

幼兒、「え行きませう、あ行かう／＼。」

外へ行くのをいやがる者などは一人もあらう筈がありません。一昨年の九月二十七日出席幼兒九十六人を保姆三人小使一名と保育實習生三人で引率してまゐりました。出かける前に「招魂社に何が

ある」といふ話から、「お宮がある、大砲がある、池がある、鯉がある、バッタもある」といふので、「バッタとつて、どうしてつれて来るか」といふ問ひからはじまって、出かける前に廣告の紙で袋貼りをしました、それをポケットに入れてバスケットを持ち二例にならんて行きます。「二七通り」と云て二と七の日に縁日の立つ通りを行きます、二人づつ並んだ子供達はこの時盛に面白い會話をはじめます。小鳥店の前では一組づゝ立止てしばらく見せてもらひました。成人が「お邪魔しました」と云つたら、店の小母さんが「どういたしまして、遠足ですか、いつてらつしやい」といはれたのでH子さんが「行てまゐります」つて申しました。

幼兒數が多いのと途中に成人の目が必要なので致し方なく少し遠い時は多勢で出かけますが近所の草地や中六の通り、花屋や市場へ、買物に八、九人で出かけます時、子供同志の會話も、成人も落ちついて仲間入り出来る様に思ひます。八百屋に玉子を賣てる事など子供の方が先に気がついて話します。染物屋鍛冶屋を見に行く事もあります。秋の保育はかうして外へ出かけますが、

歸てから翌日なり其の日なり、行たところの繪を

まこほろぎを大分つかまえました、御手洗で手を洗てあまゆりをし池のそばでお辨當にしました。後龜や鯉にふをやつて遊び歸途は裏門から土手に添て園にかへりました。昨年は蟲取りの時にはいろ／＼の催に忙しくて、いてよ拾ひの頃になつて行きました。今年は、九月二十七日に蟲取りのつもりで行きましたがちつとも蟲は見つからず、一匹もたがまきりを皆で大きわざ致しました。

書いたら大きい黒板に合作したり、又知りあひの幼稚園や家へ行きました時は、お禮状をかいたりとつて來たこほろぎには毎日枯葉をめらせてやつたりして、いろいろな仕事や製作への緒口が出ります。あと前もなく述べました事に就き皆様の御批判を伺へれば幸と存じます。

○

本郷區第一幼稚園

石渉つな氏

私の申上げようと思ひますのは、室内で致します觀察。一番先に「こほろぎ」を致しました。組は一番小さくて満三歳、四歳、中に五歳児が少しく入つて居ります。花壇からとつたこほろぎを小さい壇に入れて順々に廻しますと、四十八人位の中で「こほろぎ」と云つた子供は十二三人。「これ

はいときり」と一人の子は申しました。又一人は「僕斯んなツノの生えた魚を食べた」とこほろぎ

の觸角をみて申しますので、「ツノの生えた魚つて何でせうね」と皆んなで考へました。「ナマヅでせうか」とさしますと「左うだく」と申します。

保母「どちらが頭ですか」

と云つても頭の方角はなかくに分りません。
保母「お目々はどうちにあるでせうか」

と申しますと「こつち」と五歳の子供が指しました。丁度よく鳴いてゐたのを見て「お翅をこうして鳴くのね」と眞似しましたが、大抵の子供は「こほろぎが喧嘩してる」喧嘩々々と許り、ほかの何事にも氣を注けません。

次にバッタ、イナゴを飼育壇に入れて机上に置きました。これは大概の子供はよく知つて居ります。

保母「バッタといナゴはドコが違ふか」
を尋ねますと「バッタは綠色、イナゴのセナは黒

い。」「バッタの頭は尖りてゐる。」「夏休みに○○へ行つた」など、夏の話、海の話に飛び込んでしまひます。

イナゴが壙に捕つてゐるのを見て「先生、イナゴはつかまつてゐるけれども、バッタは何うしてのぼつて來ないの?」と一人の子供が質問しました。組でもいい子でした。

保母「イナゴの方は脚がザラ～してゐるぞせう。

バッタの方は少ししかザラ～してゐないから」この春、お玉杓子をずっと飼育致しました。その時にお玉杓子から成つた蛙が壙の中を登るので、

蛙には吸ひつく所があることを説明してやりましたそれで、イナゴが同じ様に壙を登るのを見て大きい組になると、直ぐ先の蛙を思ひ出して分りますが、小さい組では喧嘩にばかり氣を取られてゐます。

ち米とか。クリームとか自分達と同じいものをしきりに申して居りました。

植物の方では「栗」を、ちょっと、致しました。栗を見せますと「それちいしいですか、甘いですか」とそんな事許り申します。

「稻」も、机に少し宛配りまして「キンダーブック」の繪で致しました。汽車の話やら、僕大きくなつたら兵隊さんだとかそんな話で持ち切り、本のをわらの方の「米で出来るもの」の頁になりますと、ごちそうの話許りで大騒ぎです。

小さい組では或一つの物を落付いて観察すると言ふ事はなかなか困難で思つて居る事はそれからそれへと保母が豫期して居ない處へ飛んで行きますが、小さい組では喧嘩にばかり氣を取られてゐが深い様に思はれます。

保母「何を食べて生きてるぞせう」

○

武藏野高等女學校
附屬幼稚園 森 とよ氏

わつてゐました。

私の幼稚園に於きましては幼兒の自發的質問を利用しまして何事も幼兒本位にいたして居ますが其のためか時折り私共の思ひ付かぬ面白い出来事が展開され其都度愉快な内に知能の啓發や健康増進も出来るのであります。かかる場面に出逢う度毎に私共の責任の如何に重大なるかを深く感じられまして一層保育事業の研究に發奮させられます

さて天高肥馬の秋、幼兒を戸外で紫外線にふれさせよ日光浴させよと申まして我園では出來得る限り戸外保育を獎勵して居ります。

恰度九月中旬の或一日の觀察の一端を申上ます私が朝園に参るより早く「先生御はやう」と元氣のよい園児が直ぐ校庭で蜻蛉の飛んでるのを見付けて「先生蜻蛉捕りに行ませう。」「さうですね」と考へてゐる内一匹見つけ篭を持つて夢中でかけま

四の願故「參りませうか」と承知するが早いが其児は全部ふれ廻つた。園児一同大賛成一人も残らず庭に集り出發の時をあそしと先生を待つてゐました。

先生「まあよく御揃になりました事」五、六人と思つたら皆さん御出になりますの」

幼兒「ええ僕も、私も連れてつて頂戴」と、嬉々としてよろこぶ。

やがて一同園舎を後にして出發しました。

「御手てつないで」を歌ふ者、あゝれしい／＼とスキップしながら飛び歩く者さながら遠足氣分で御座いました。

路傍の人は此樂しさうなピクニックを微笑して見送つて下さる。太陽は午前のやわらかな光を我々の幼き者一行の爲に照して下さる。間もなく碧

々と草の繁つた野原へと着きました。勿論發起人の幼兒を先頭として。

「茲だ茲だ」と蜘蛛の巣をちらしたやうに四方へ散らかりました。が危険なもの一つないのでそのまま様子を伺つてゐました。

長い間の雨もやつと上つたので彼方、此方に水溜が有のを見付けた。A 幼兒「海だ、海だ」

B 幼兒「こんな小さな海があるか 川だ、川だ」

C 幼兒「ちがふよ、これは水溜りだよ」と言つて

水溜と解決し其流れが何處へ行くかと互に流れの方へと注目してゐました。

突然の事とてもち桿一本網一つ持て來ませんが機轉のきく幼兒は早くも帽子やハンケチを網の代

用と致したのを見次から次へと真似て行きました無數の蜻蛉は空の王者のやうに又小さな飛行機

の様に高く低く飛び廻り容易につかまりません。衆兒は戦場にて敵の飛行機をたき落すといふ程

の勢力ながら地に足も付かぬ程の有様です。

行き交ふ人々も此有様を立止つて微笑して行きます而しさしもの幼兒も三十分位でぱつらべと私の側へやつて来るどうしても捕れぬ者とあきた幼兒とで約三分の一程は鬼ごっこやら徒競争で無中です。草花を手折る者もあります、其内の一人遠くに見える異様な建物に注意し

A 幼兒「あれなあに」

先生「さあ何でせう」

B 幼兒「先生僕知つてゐよあれは中央市場よ、元はよくはやつたが外の市場と競争してまけちやつたのそれで止めたの」

先生「まあさうですか、よく御存じね」

C 幼兒「勝つた方の市場ははやるよ、時々樂隊をして大賣出してるよ、今は西瓜の大賣出し」

先生「さうですか。では御勞れでせう御喉が乾いたでせうから其勝つた市場へ西瓜買に參りませう

か」

大賛成やがて二十餘人の子供を連れて幼兒に手をひかれ市場へ參りました。

この不意の珍客の一隊を市場では物珍しさうに注意して居ました。先生と八百屋との問答を幼兒は注意深く聽いてゐました。大きな美味しさうなものを三箇求めたのを見、僕が持つて行く私が持つて行くで大騒ぎ。變るべく御願する事として歸途につきました。互に持合つてゐる内一人の幼兒があやまつて落してしまひました。

幼兒一同「落しちやつたの先生、甘いお汁がこぼれるぼた／＼と」と大きわぎでした。

先生「重かつたせうでは先生が持つて參りませう」と申しましたら皆々安心、落した子供もホッとした態、間もなく園に到着。

蜻蛉捕りの一隊も歸つてゐましたか、五、六人の幼兒尙庭にあつて勞れも知らず一生懸命に蜻蛉

追ひ、一人の幼兒洗面器に水を入れ彼方此方に水溜をこしらへそこへ蜻蛉の下りて來る隙をねらつてゐます。

私は其思つきに驚き、かくまで觀察が出來てゐるかと思つて感慨無量。

其内一幼兒「こんなに澤山捕りました」と持つて參りました數々の蜻蛉。

幼兒「これは、シホカラ、これは、アカシ、これは、ギン」

先生「まあよく御存じね、その外蜻蛉の名を御存じですか」

幼兒「知つてます。鬼ヤンマ、トホスミ蜻蛉、オハグロ蜻蛉」と答へた。

夢中で矢鱈に捕つてゐるのではなくよく判つてゐるのに少からず私の心に何物かひきました蜻蛉科、ヤンマ科、イト蜻蛉科、と學問的に動物學上別れて居ますが子供は其ほとんどの種類を知

つてゐましたが、川とんぼだけは捕れませんので残念でした。

先生「では皆さんは御飯やパンを召し上りますが」

蜻蛉は何を食べますか」

幼兒「蚊や蠅」

先生「大きな、ギンヤンマ、鬼ヤンマ、は小さな蝶や蛾も食べながらすい／＼と飛んでるますよ」と申しますとあの蝶をと驚きの様子でした。

先生「夜はどこに休みますか」

幼兒「木の葉のかけや草の葉のかけ」茲で蜻蛉の住所の不定でない事を知らす。

其證據に夕方住家をさがし又次の夕方同所に見出す事が出来るとしらせました。

先生「そんなんに捕つたら蜻蛉はるなくなりますね」

幼兒「いいえ卵を産みますからいへんのです」

先生「卵はどこへ産みますか」

幼兒「水溜りやお池」

先生「先程庭で水溜をこしらへて居つたのは何のためにですか」

幼兒「お池を造つて卵を産ませるの。その内に捕るのです」とかく答へた幼兒は五十人中約三分の一御座いました。其後蜻蛉を硝子器に入れ蠅や蚊を食べる有様を觀察させました。不思議さうにぢつと見入つてゐました。

其内一人の幼兒に西瓜を催促されたのでテーブルの上に俎と庖丁を持出し切り初めました。幼兒はたきず口をならして嬉んでゐます。

さて之を食事用の益にくばり「皆さん召し上る前に先生の言ふ事を御聞き下さい」「塗繪の西瓜をその西瓜の様に美しく塗りませう」と申しますと一同またよく間に色採種子等保姆の何等の干渉もなく美事に塗れました。塗つてゐる間に上の美味しい所を失敬する子もありました。最後に保姆も

幼児も共に美味しく充分に一入の味覺の觀察も出来ました。

以上は一日の觀察事項の概要であります。之によつて私は無言のまゝで而も幼児の自發的行動を

傍観し日頃の觀察が如何なる點まで進んでゐるか知りました。又言葉の表現即ち會話によつてより

一層の觀察が出來ました。

フレーベル先生の言に「幼児は保母の先生なり」と。誠に心に銘じそれをモットとして日々の保

育に研究努力せねばならぬと思ひます。そして此事によつても自然に還れ自然に親しめと云ふ事を非常に深く感じ如何に此大自然によつて教化せらるゝかを知られます。

貴重なる時間を御分ち頂きましたにも拘らずつ

まらぬ題材を申上げまして皆様の御静聽を戴きました事は私の深く感謝に堪えない處で御座います

な御催しを御開き下され互の御研究を御聞かせ下さいる機會の多からん事を衷心より御願申す次第で御座います。

○

九月の豫定主材目に就いての實際

東京市富士見尋常
小學校附屬幼稚園 小杉さと氏

暑さ寒さも彼岸までと申しまして、九月は誠に快き時候でございますが、私は別に觀察いたしたなど、申上げるほどの事はございませんが、只九月の實際に生活した事を一寸申上げて見度いと思ひます。

九月の一日は靜かな二百十日であります、此日は大震火災の七年紀念日でありましたが、日曜日で其翌日の二日が幼稚園の始業式なので園児一

同遊戯室へ集り、津田校長先生をお迎へしてお休み中のお話を極く簡単に話されまして式は終りました。それから毎日毎日園児の交り交り旅行話が出ます。園児のお土産には貝や石や海綿の植木鉢など貰ひました。保姆も亦、日光旅行中の繪葉書など持ち参り掲示板にかゝげ其他珍らしき物は陳列棚にならべて皆々楽しんで見ました。此の月の五日頃からは、雨ばかり降りつづきましたので皆で交り／＼兎や雞や又色々の小鳥などに餌をやり、親鳩、子鳩を世話したり、セキセイの親鳥、小鳥など覗いたりして歡んで遊びました。又十一日は大雨大風でありました。丁度此の日は二百二十日なので簡単に田舎の農業のお話をいたしました。

十三日は乃木神社祭なので前日から乃木大將の繪葉書を掲示板に掲げたり又大將の御幼少の時の逸話や御來歴の著しきお話をなどいたし、十三日は午前十時頃から松竹梅の三組一同遊就館に参り、あ

寫直や御遺物を拜見して、いろいろお話をいたしました。十五日は氏神築土神社のお祭りなので前日から萬燈と申して、いはゆる田樂提灯の準備をして繪を画いたり、手工細工をしたりして皆々園児のお土産にいたしました。

それから十七日はち月見なので前日から花壇の手入れをいたし、薄や萩や紫苑や雞頭などを花瓶にさし、枝栗や枝柿や、ほうづきなどをとつて籠に盛り、お月様に供へ、粘土細工の準備をして藤棚の下に机を並べて皆々園児が歡んで、おだんごや果物をこしらへ、又中には兎や象などをこしらへて供へた園児もありまして、大笑ひをいたしました。津田校長も來られて一緒に唱歌を歌ひ、遊戯をいたし、お話をなどして、園児の歸りには、めいめいで造つた、おだんごやくだものや、ほうづきなどを頂いて其の晩のお月様にと持ちかへりました。

それから嵐後の藤棚の刈込み手入をいたしました

大和郷幼稚園 坂内ミツ氏

たので藤の蔓や葉が澤山ありますから毎日——藤棚の下で葉を拂ひ莖をとり、龜の子や籠や、ち舟や飛行機、藤の葉草履の形など造つて遊びました。毎年——きまつた篤志家から枝栗と蚕糸を澤山に頂きます。今年も二十四日に蚕糸を洗面鉢に一ぱ

い頂きましたので、皆々園児が大喜びで庭の築山や花壇の草の中へ放ちましたので、園児の頭でも胸でも又手足のきらひなく飛びつきますのでお辦當の時間も忘れて遊びました。又折々日和のよき日は靖國神社へ参つて、かやの實やどんぐりや、落葉など拾つて、秋の氣分を養ひました。

之が九月中の生活状態であります。誠にとりとめのないお話をいたしまして、お耳を汚しました

尙又園児が造りました物の、龜の子や藤の葉草履飛行機や、萬燈など持参いたし御笑覽に供へます。

理屈はいひ易く實際の話は誠に話しくいものであります。今日の話題が幸にも觀察の實際についてといふのでござりますから實際のお話を承る事が出来ると喜んで出席いたしました。

果せる哉數々の有益な御話を承りましたこれがらしいろいろの御話を伺う事と喜んで居ります。私は久しく引っ込んで居りましたが再び奉職いたしました。もう頭もなくなつて居りますので、時勢におくれはせぬかと心配して居ります。今日のやうに多數の方がお集りの處ですから實際して居ります事を御話して御批評を願ひ度いと存じこゝに立ちましたわざでございます。

私の園は本年四月の開園で秋の經驗は漸く今日迄の處であります。その上市の内にありますので自然物に乏しく苦心して居ります。理想から申せ

○

ば市中の子供には時々郊外に連れて行き田畠の様子を知らせ、薺入れの有様も見せ度い、いとも掘らせ度い、大根もぬかせ度い、時には森の中に連れていつて小鳥の聲にさゝとれたり、つかれる迄蟲も追はせ度いと思ひますが其處まで連れて行く事が容易の事ではありません、郊外にもありになる幼稚園が美しいと思ひます。それでも出来ない事をいくら考へても仕方がありません。自分の園の環境と興へられた設備に於て最善をつくすより外はないと思ひます。幼稚園令施行規則第二條に保育項目は遊戯、唱歌、觀察、談話、手技等とすとあります。これ等の項目を如何にとり入れ如何に取扱ふかについては研究を要すべきものと思ひますが、觀察に對しては僭越ながら自分では次のやうに解釋して居ります。即ち幼兒の時から事物に注意する習慣を養うためと他日學習する時興味を持たせる爲めで其物について知識を與へるといふ

のではなく一つの潜勢力を得させる事である保母は特に其點に注意せよとの爲めに觀察といふ項目が加へられたのだと思つて居ります。

保育は保育室だけに行はれるものではなく、門を入つたら保育がはじまり門を出る迄は一寸のひまも心の弛みもない筈でありますから保育室で改めて只々觀察といふて致すべきものでなく事にあたり物に應じ常に觀察させるべきだとぞんじますそれには保母自身が常に物事に注意し興味を持つて居らねばなりません。自分が興味を持たず幼兒にだけ強いる事は無理な話であります。

九月十三日でした。十日近くも降り續いた天候が漸く晴れて十時頃には太陽が照り出しました。子供心にもどんなにうれしかつたのか、お日様が出たと叫び出しました。外に出てお日様を拜みませうといふので外に出て天を仰ぎました。澄みました青空の處々に綿をちぎつた様な白雲が浮んで

居りました。其雲足の早い事かけ足で南の方に走つて行きます。雲が歩く雲が駆けて行くと大喜びて見て居ります。殆んど總ての子供の顔は暫くの間天を見つめて居りました。其間には雲はどこに行くの、雲はあんなに早く走つていっておしまいにどうなるのかといろ／＼奇問を發して先生を困らせるのもあります。空の色はきれいねと感心して居るのもあります。實際澄みきつたきれいな色でした。其内にち花が倒れそうになつたとて花壇にかけて行く人もあります。蝶を追ひます人もあり、連日の降雨について話しあつてる幼児もありました。又或時は蟲が鳴くと一人がいひ出すと其まはりに居つた子供は一齊にかけて行き、花壇のすばりを探します。一匹でも見つけると大喜びて飼つてくれと持つて來ます。草むらがあつたらどんなにかよいでせうと思ひます。夏休み中もわざと草をとらずに置きましたのに塀のそばに少し

ばかり生えたばかりですがそれがずい分役に立つて居ります。

こんなにして毎日のやうに蟲を追ひ蝶を追ひとんぼを取つて居りますが、殊更に足が何本翅が何枚と數へる事はさせません。興味を以てさく人は答へますがそれは教へるとは思ひません。興味を増させる爲めです。時によつてはわざ／＼草の名をいつたり、蟲の名をいつたりしますのがそれは自然物に親しみを感じさせる爲と興味をそゝる爲めであります。保育の内容を知らぬ人は二様の非難をします。或人は幼稚園は教へ過ぎる、子供の内にあんなに注入しては過重だといひ、或一方の人は幼稚園にやつても何も教はらぬといひます。兩者共に當を得ないのです。興味を起させる爲めに他日の潜勢力となる爲めにと思つて行つた事を教へ込むのだと解釋する人は過重だとあります。數の觀念にしても、自然物や自然界の現象を觀察

させるにしても、遊んでる間に致しますのでそれ等を見出しえないで保母はたゞ何の考へもなし遊び暮して居るものだと解釋される方は何も教へぬと非難されます。

只々幼兒の在籍七十足らず出席六十二三名職員三人、三組に分ち三年保育の組が十二名居ります八時半より十一時半迄です。

しかし私はこの非難に對して説明を與へるにはそれだけの自信があり、それだけの實行がなければなりません。一分間も頭に休む間がないのであります。以上のやうにして觀察させる事は頭の用ひ方一つで出來ない事ではありませんが、一番困難と思うのは平等に行き渡るといふ事であります。先生の側にばかり居る子供には厚くはなれています。居る子供には薄くなりはせぬかと案じられます。その點についてよき御考へを御持ちの方に承り度いとぞんじます。

子供は八時前より来る人もありますので、九時に全體あつまり國旗をあげ日の丸の旗をうたひます。つゞいて一同で遊戯をしました。はじめ一の組、二三の組が後で少しして各室にはいりました。十時頃飛行機が飛びました。大方の子供が見ました。それを見送つてから空がきれい雲が多い、此間のやうに歩かないと暫く天を仰いて居ました。十時半頃私は庭の石を拾つて居ました。其まはりに七八人の子供が集つて石を拾つてかごに入れ力一つばい出して運んだり赤い石がある貝のがある丸いとがつて

實際と申しながらやつぱり理屈に走つてしまひう
ましたから一日の實際を簡単に申上げます。九月
二十七日(金)の一日です。

居るこんな大きいのがある、それは小さいとしきりに手傳つて居ます。其間に花壇のまはりにカンナの花べんの散つたのを拾つて居る子供は時々持

つて來て私に見せたり、蝶が居るとして引っぱりに來たりして居ました。砂場にも五六人滑台にも少數見えましたが至つて静かです。外の先生はと見ると今日は常に室内が賑かで二の組は積木に

惜しいやうでしたが迎の人も多くなりましたので二十分にち旗のまはりにあつまり旗をちらして其邊を片づけさせ各室にて仕度を整へてかへりました。

夢中で半數位入つて先生を中心共に共同して積んで居ます。三の組の先生は此頃入園した人に氣を配りながら粘土をさせて居られます。そこに一の組が四五人二の組が二人も客様に来て熱心につくつて居ます。三の組もつれ込まれて動きません。一の組の室には昨日のきり紙が足らなかつたと見え二の組の人もさじり五六人がしきりにきり紙をして居ます。

十一時頃室内の仕事は終つたと見え殆んど全部駆け出して居ます。二つ三つの組には分れて居ますが今までの静けさに引かへ大きはぎです。こんな氣よく先生も逃げたり追つかけたり疲れてしまはれるやうです。

桐「葉」は三は四葉せはしなや

桐一葉

一茶

ハ　ウ　女　史

倉　橋　惣　三

アンニ・ライオン・ハウ女史は、我國の幼稚園教育に於て最も紀念せらるべき一人である。外人にして我國の幼兒教育に盡力せられた人は必ずしも尠くない。しかも、ハウ女史の如く長年月に亘つて一意此のことに專念せる人は、余の知る限り他にないと思ふ。殊に、疾くに頤榮保姆傳習所を興し、年々幾多の卒業生を全國の幼稚園に送つて、斯教育の普及と發達とに貢献せられたる功績に至つては、日本の幼稚園教育が女史に負ふところ頗る大いなるものがある。常に深甚の敬意を感する次第である。

ハウ女史が始めて神戸に來つたのは、明治二十年米國中央部婦人傳道會社の宣教師としてであつた。しかも、女史は元來バトナム保姆學校の卒業者であつて、その後シカゴに於て私立幼稚園を經營し、自らその園長たること九年、我國へ派遣される年の年にまで及んで居た斯教育の専問家であつた経歴から推し考へて、渡日後の目的の中に、幼稚園設立の企圖があつたであらうことは疑ふことは出來ない。殊に

幸なことは、當時神戸の先覺婦人諸君の間に、幼稚園設立の計畫が行はれて居り、それがハウ女史の來たるによつて、機急に熟し、明治二十二年、頌榮幼稚園の開園を見るに至つたのである。此の事情は、事實上、完全に、女史をして、幼稚園教育の爲に日本に來て呉れた人であらしめて居るのである。

其當時のことが大正九年發行の頌榮幼稚園三十年間略史に次の如く記されてゐる。

「回顧すれば今を距ること凡そ三十年我國幼稚園の教育未だ盛ならず世人亦其の切要を感ずること薄き時に方り我儕同教の姉妹幼兒教育の忽緒に付すべからざるを感じ相謀りて幼稚園設立の計畫をなせり即ち明治十九年五月十二日會友遠山てい子の宅に於て婦人親睦會を開けるに際し席上來會の姉妹等に訴へて贊助を求め且つ之れが實行を盟ひ此業の第一着手として資金を得ることに力を致さんことを約せり爾來各自家政の暇ある毎に雛人形の衣裳を製し之を數十の人形に着せ且つ會友の内より祖先傳來の古器物を寄附せる物等を集めて之れを米國に輸出し得る處の純益金七拾參圓に婦人親睦會より寄せせるものを併せて金百參拾六圓を得之を基本として漸次蓄積を謀ることとなれり

明治二十年更に同感の婦人を募り幼稚園設立の目的を以て婦人會を組織し會員各自毎月壹錢以上の積金をなして設立の資金に備ふ是現今の婦人會の濫觴とす爾來世間の状態は大に變化し教育の業亦進歩して各地に幼稚園の設立を見るに至れり然れ共我儕微力にして速に其志望を達することを得ず只互に相勵みて好機の至るを持ちしに天佑のある處我儕の希望空しからずして幼稚園専門の米國女教師ハ

ウ氏の助を得明治二十二年に及び弘く趣意書を頒布して江湖の贊助を求め亦慈善音樂會を催し獲る處の純益金に加へて遂に明治二十二年七月園舍建築に着手し同年十月其功を竣へたり……」

之れ實に、それ自身が興味深き幼稚園創設史として貴重すべき資料であるが、此の記事の裏にかくれたるハウ女史の當時の盡力と寄與の如何に大なりしかを想像するに難くない。

斯くて、頑築幼稚園の内容は着々と充實して行つたと共に、一方、頑築保母傳習所も、明治二十四年七月第一回の卒業者十名を世に出すに至つた。その一人たりし和久山さそ氏は、爾來專心ハウ女史を助けて今日に至り現に同傳習所の中心者となつてゐられる。

ハウ女史の功業は、頑築幼稚園長及び頑築保母傳習所長としての實際教育の外に、邦語による幼稚園圖書の譯著刊行に於て更に大いなるものがある。明治二十五年には「幼稚園唱歌」第一編を、同二十九年には「幼稚園唱歌」第二編を、同三十九年には「母ノ遊戲ト其ノ育兒歌」上下を、同四十二年には「人ノ教育」及び「開發生活」を、大正六年には「幼稚園教育原理ト實習」を、同七年には「フレーベル傳」が刊行されてゐる。而して、いづれも皆版を重ねてゐるが、中にも「人ノ教育」は、彼のフレーベルの名著を我が國に初めて譯出せられたものであつて、幼稚園教育の研究の上に與へたる効果は實に測るべからざるものがある。今日に於てこそ、その譯書も數種を加へてゐるが、明治四十二年以來最近に至るま

て、原著若くは英譯によらずして此の書を研究せんとするものは、唯一のハウ女史譯により、その恩恵によらざると得なかつたのである。余の如きも、此の譯が始めて世に出でた時、如何に研究の便を與へられて喜んだことであらう。一體、幼稚園教育に關する書籍は、明治初年の譯述書を始めとし、その後數氏の編著があるだけで、その數に於ても甚だ多くないが、その中、最も多く讀まれたものは、蓋し此のハウ女史譯の「人ノ教育」であつたと思ふ。余は、ハウ女史の此の功業に關して、米國に於けるフレーベルの編譯者としてのミス・ブローの功業を聯想するのであるが、假りに頑榮幼稚園と傳習所の經營なしこと/or>するも、之れだけでも、我國の幼稚園界はハウ女史の名を永久に記憶しなければならぬ。況んや、一方、その説を實地に行ひ、幼稚園の一つの型を、我國人の目に指示せられたるに於て、實に、幼稚園教育に於ての教師の教師であつたといつていい。昭和二年十月退職歸國せられて、今は、我國の教育に直接の關係を有されないが、その熱心なる保育精神の感化は多數の教へ子によつて現に我國幼稚園の中に活いてゐるのである。

頑榮幼稚園開園四十年の祝賀式とハウ女史紀念の講演會とが、十一月神戸に舉行開催せられるに當り、余も亦、講演者の一人として招かるゝの光榮にあづかつたが、公務を以て果さず、茲に簡單ながら同女史の功業に對し、敬意を表することとした。嘗て、同幼稚園に女史を訪ひし日のことを憶ひつゝ。(昭和四年十月記)

園外保育の實際（承前）

岡山市立伊島幼稚園

園外保育について

幼兒教育にあつては第一が保育者的人格的感化（幾種の手段方法頭腦の佳悪より明るい笑顔の全人的なる事がその要素の第一である事は勿論であります）その次は自然より受ける感化が最も重要なことは申す迄も御座いません。豊富なる人間性の萌芽を培養し想像創造生活をより盛んならしめ美はしい性情を涵養し、外界の生命化を期す、これらの諸點より考察致しましても園外保育は幼兒生活に最も適合し幼兒の楽しい生活内容を豊富にし充實さすべきものであります。

この意味におきまして私の所の園は大變恵まれ

た環境にありますことを何時も感謝致し共々に悦びます次第で御座います。後には優麗な京山を脊負ひ前には四季交時に花咲き亂るゝ練兵場を控へ北隅には又小川のせくらぎも聞くことの出来る大自然の中に抱かれて、園舎の比較的狭隘なる爲屢々園外に自由の羽をのばすので御座います。

京山

京山の峯續きに丁度園児に適當する小丘がありて常盤木の松が色映えて居ります。この根が著しく出て自然の面白い形態をなして居ります一本の松の木が停車場になりビーポーの音よろしく汽車は發車し次の驛（他の松の木）へ参ります切符は適宜の紙或は途中採集した木の葉の赤青により考へ出されて一等ともなり二等三等ともなります。真

中にある一寸した盆地はトンネルにもなり又兵隊ゴッコの隠れ場所にもなります。かくして自然の桟登りにもなり自然物の利用にもなり幼児生活の要素たる遊戯的活動性の指導或は想像より創造への動的の運びともなり寸時の経つ間も意識面にのぼらない時が多くあります。

尾針神社及その附近の小丘

山の中腹にある眺めよき神社。早出の幼児のみ

にて朝霧のとけぬ内石段をかぞへかぞへ登り清らかに參拜し春は櫻秋は紅葉箱庭のやうな鳥瞰圖を見えて驚嬉の眼を輝かし歸りには團栗のち土産が袋やポケットをふくらします。歸園してからは自由畫にもなれば團栗の獨樂の製作にもなり砂場の共同製作にもなります。

小川

春漸く水の温む頃にもなれば可愛い玉杓子も泳ぎ出す、幼児もおどる、網を持つて瓶を下げ

て久し振りに小川へ行く、ちよろちよろ逃げるのをやつととつて水槽に入れた玉杓子。あれは私がとつたの、これは僕の赤ちゃん兄さん色々の黒ん坊、足が出次に尾がとれる、面白い習性形態の觀察の資料になります。メダカ取り或は金魚の時には藻草取りなどどんなによい觀察になり幼児を樂しませその生活を充實させることでせう。

練兵場

廻や車などの製作物を持ち行き思ふさま走る愉快さ、廻のきりきり舞ひに首をかしげる幼児、廻の尻尾をつけたす幼児、そこにも此處にも眞剣な小藝術家が現はれます。董たんぽゝ咲く頃の花輪花束がよその園の可愛らしいお客様の優しいお待遇にもなれば幼稚園の花壇或はお部室を綺麗に飾つても呉れます。

赤トンボがスイスイ飛びバッタが飛ぶ秋にもなれば尙更幼児の天地との感が深うございます。丈

を没する雑草の中に見え隠れ小兵隊の演習が始まります休戦のラッパも高らかに鳴りひどきます。足音忍んで取つたこぼろぎは籠にいれて長い間飼ふ事が出来ます。これが鳴いた、あれはなかない。劍のあるのは?ないのは?。一つとして觀察の材料にならないものはなく幼児の生活内容を充實させないものはない。勿論柔らかい日射しに身體は健やかになる天と地と幼児と皆が大自然の中に融け込んだその瞬間こそ最も尊いことではなうか。幼稚園の園と言ふ本來の意義もこゝにあるのではないかと思ひます。(完)

○

東京市番町尋常小學校附屬幼稚園

四月二十二日(市ヶ谷八幡様へ行く)

あまり麗かなも日和なので、明日の豫定をくりあげて今日出かける事にする、三人の先生で相談

がきまとまづ本校の掲示板へ記入する者、急救箱をあらためて持ち出す用意をする者、小使に岡かける仕度をさせる等手分けをする、「八幡様へ行きませう」と云ふと皆大喜び二年保育の組はなれてゐるのでさつさと仕度をして玄關の前に並ぶ、新入の二つの組もあとから續いてまだ附添からはなれない新入の七人だけ附添も一緒に出かける道程は約三丁、幼児の足で片道三十分あれば充分、二人づゝ手をひいて並びますが圖にある道路横斷の時だけは皆一處に集り、其時の都合で全部一緒に又は二組先に一組あとに、或は一組先に二組あとに、先生が道路のまん中に立て「ハイ」と會圖をして幼児はかけ足で横ぎる、丁度横切る處に交番のある時には警官にたのむ。

三番町の方から来る幼児は市ヶ谷見附の處へ來ると、「僕のうちの方だ」と云て喜んでゐる、女坂を上る時隣の士官學校の馬場がみえる一こゝ屋上

から見え

るよ」と

M君「上

へ行くと

八幡谷
番町學
校がみえ

市
T君「ア
るよ」と

蝶々!

蝶々!

T君「ア
るよ」と

蝶々!

蝶々!

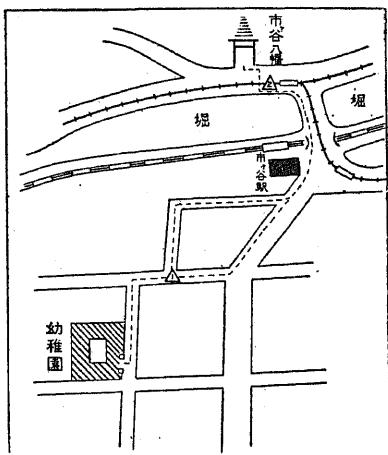
蝶々!

蝶々!

蝶々!

蝶々!

蝶々」とK子さん、保姆は春の蝶々をめづらしげに追ひよろこぶ都會兒がいぢらしくなる。石段を上りきつてまづ參拜する、ガラス蓋の箱の中に小皿に米を盛つたのが並んでゐる。まだ朝のうちとて誰も鳩に餌をやらないらしい。「お米のお皿いくつある?」「八つ」「九つ」「ちがふ十だ。」といふ答が出る。先生が一緒にかぞへたら十だつた。一錢銅貨がなかつたので先生は五錢を二つ錢穴に入れお



皿の米を皆に一つまみづゝ渡して鳩に與へた。屋根の上で首をかしげて、眺めてゐた鳩は、やがて一つ二つだん／＼集て來るT雄さんはあんまり近くに來た鳩をつかまへようとしていろ／＼骨を折たあととう／＼追ひまわしたので羽音をたてゝ鳩は一齊に飛び上つた、T雄さんも皆も驚いた、鳩が怖がらない様に皆はそこをどいて境内に分れ／＼に行く、學校の見える處へ樹の根をよぢのぼりに。この土の上にあらはな樹の根は「蛇の様だ」とか「ごぼうの様だ」とか大分問題になつた。根をよじて登れる處まで手傳てのぼらせる。あにごつこ、かごめをする、あまるぬ、こまるぬと丈くらべをする。一時間位すぐたつてしまふ、やつぱり女坂を下りて歸途に着く、かへりは往きに比べて多少時間がかかる。園にかへると丁度お辨當時間、仕度をして食事にする、食事中の會話に午後のあるそびに、八幡様行きの晝の合作や、ちもひあ

もひのものが出来る、(出席幼兒九七名)

五月七日、(清水谷公園へ行く)

道のりはほど八幡様と同様、急救箱の外にキヤラメルを十二箱用意する。いつもの様に二列にならんで行く。「僕の家だ、光ちやんがゐる」F君は歩が早く

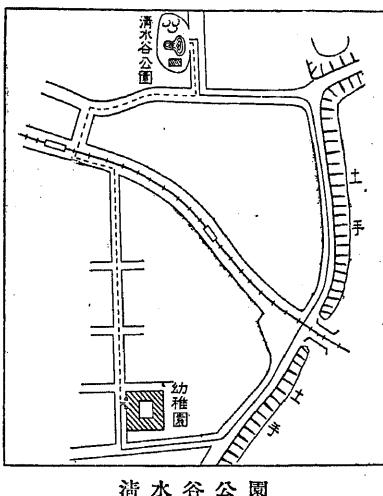
なる、「先生ち子のち家も通るわね」「S子さんち家何丁

目」「七丁目」「何番地」「あの坂のこつちがわ(手まねする)

でご門のとこに大きないてふの樹があるから、すぐわかる

の」「先生僕の家の方も通ると

いゝなあ、あつち通ても行かれる」「さうね、少し遠いでしょ」「遠くつても行かれる行かれる」「ぢやあ歸りにくたびれなかつたらね」「入口の石橋を渡るとすぐ池が目につく、藤が咲いてゐる。一寸上



を見てごらん』「何があるの」「きれいな花ね」「何、

さくら?」「いゝえ、あらアブもち花見に來ました

よ」「なあに、先生」「ふじの花」「これ藤の花」豆子

さんがこぼれたのをひろつて來る、少ししなびて

るるい、香ひがするでしょ、

「あゝいゝ香ひだ」「どんな

の」園内では大體は組々に思

ひくの行動をとる、「これ

何、お墓?」「これは大久保さ

んといふ昔の偉い方の事が書

いてあるの」「死んでここに埋

てあるの?」「いゝえ、先にこ

こにち家があつたから、こ

へ來た人にわかる様にかいてあるの」「お墓ぢやあ

ないの?」「え、これは石碑」「せきひつてお墓みた

いだね」幼兒にはどうもふにち知らないらしい。や

がてブランコに乗る滑り臺に乗る、小山に登る、

キャラメルを一つづゝ取らせる、いらぬ紙は空箱へ。

歸りには足弱と強いのと二手に別れる、強い方は土手を廻て、弱い組はもとの道を、四谷見附も麴町の通も自動車の往來がはげしいので警官にあせわになる。

歸園してからYさんは取て來た毛蟲の作家を作るので夢中、畫には大分、大久保公の石碑がかゝれてゐる。そして中へ「大久保と書いて頂戴」とたのまれた。(出席幼兒九五名)

十月四日(靖國神社行さ)

道のりは八幡様へ往くの約倍、幼兒の歩調で片道約四十分年少と年長で違ひがあり、先頭の往き方に依ても大分違ひが出来る、いつもの用意の外に大きい薬罐二つ空で小使さんに持てもらふ。東

郷元帥の邸の前を通て店屋の多い二七通りを往くち魚屋の前で、「あの細長い魚何?」と聞いたら

足を止めた十人程の中、Tさんがしばらくしてから「サンマ」といふ、皆がサンマと面白さうに口の中でくらかへして歩いて行く。先づち宮に參拜する。お畫に集る處をきめて置いて各組自由行動にする、パン屋さんでキャラメルを買って薬罐に二つお湯をもらふ事をたのむ。櫻の樹の間のあにごっこ、馬場でのかけっこ、裏の池の緋鯉にふをやつたり存分にあそぶ。

大村さんの銅像の下の大砲の處や石燈籠の處でお辨當にする、お食後にキャラメルを二つとらせる。軽くなつたバスケットをもつて往きより時間のかゝるつもりで十分時間をみて、裏門から土手をまわつて歸園する。歸園して玄闕で草履袋をとると、さよならをして別れる。(出席幼兒一〇一名)

十月十三日(八百屋行さ)

「だれか幼稚園のそばの八百屋さんを知てゐます

大阪市立船場幼稚園

か」「しらない」「あたし知てる、交番のそばを曲て行くとある」「ちかい?」「ぢやあち月様にあげるものを買ひに行くから一緒に行つて頂戴」「あたしも」「僕も」ぢやこれ丈で「一寸八百屋さんに行つりますからち願ひ致します。」K先生にお留守居の子達をたのんで出かける「行つまゐります」と子供達、あとから氣づいた子供K先生と一緒に「行つらつしやい」。八百屋さんの小父さんは柿、葡萄、栗、りんご、なし、芋、の少しづゝを氣持よく賣ってくれて、「柿は小さいからも一つまけてあげましょ」とあとから袋へ足した。かへりの道々子供達は包を代り代りに持た。そして小父さんが柿をまだくれた事をお互に話してゐた。(往復と買物時とて約二十分)。

以上は園外保育のほんの一、二を日記からぬきがきしたのです。

お問ひ合せに預りました弊園の園外保育についてお答へ致します。

一、度　數

種々の事情のため度々も致しかねますが春秋に各々一回乃至二回は行ふ事にいたしまして、大體夏冬の間は出ない事にして居ります。

二、場所選擇

市内電車は別として市外電車は大抵三十分位に行ける程度のところ。
景色がよくてあぶなくないところ。
適當な遊び場のあるところ。
適度な距離を歩き得るところ。
食事の都合、便所の便利なる場所。

三、方　法

市内電車に團體で乗る事は車庫前でない限りは

不可能ですから家庭から保護者に連れられて郊外電車の發する停留場迄時間を定めて集合することにします。大人にも子供にもそれ／＼必ず徽章をつけさせておき、職員は早くから行つて待つて居ます。定めの時刻が來れば特別電車（或は汽車）で目的地に参ります。辨當は各自持參

あやつは時には一定に與へる事もあり、各々持參の場合もあり不定、大體は九時半頃大阪發午後二時半位に歸阪の豫定、時には行つた先で解散する事もあります。

目的に於ては

自然の觀察、自然物の採集、二三の遊戯、自由のあそび等をいたしますが、競技をさせたりして褒美を與へる様な事はいたしません。

家庭の事情で附添人の無い幼児に限り一度登園させ職員が一人ついて連れて参ります。

その他、氏神參拜や本願寺別院へ鳩に豆をやり

に行つたり銀杏の葉を拾ひに行つたりするやうなことは隨時行ひます。



園外保育に就て

岡山市立深堀幼稚園

折井彌留枝

當園は市の最も中央にありまして相當富裕なる家庭が多いのであります。それでも家庭や幼稚園に於ける生活では中々充分に日光浴をすることや大自然に親しんで自由自在に心行くばかりの活動をする様な機會は極めて乏しいのであります。故に私は特に此點に留意して屢々郊外に引率して自然に接觸し總ての物を自然のままとして觀察せしめ彼等的好奇心究知心に満足を與へ身體の保護と

増進とを計り尙優美溫雅なる性情の陶冶とに努めています。何分に幼兒數が大變多くて二百名餘もありますから全園舉つて同時に出かけることは

種々不便なることもありますので平素は隨時一組か二組か或は時としては半數位づゝ引率して出てゐます。そして春秋二回かなり大規模な計畫を以て園外保育を行つてゐます。この時は家庭へも通知し保護者の參加をも求めます。これは幼稚園と家庭との連絡上の好機會であると思つてゐます。今こゝに七月に實施致しました全園々外保育の概要を左に申述べます。

一、期日昭和四年七月八日

二、場所 岡山縣上道郡三幡村大字宮道及江並海岸(本園を距る約二里)

三、目的 宮道川岸に覗拾ひとなし水族館に於て海中棲息の動物の形態や其習性を觀察し海岸や川岸の逍遙によつて快活な氣分にひたらせて一日を愉快に過させたいと思ふ。

四、記事 兩三日前各家庭へ次の様な通知を出し

ました。

七月八日(月曜日)上道郡三幡村宮道へ覗拾びと

水族館見物とに旅行を致しまして一日を海岸で愉快に過させたいと思ひますから左記事項を御承知の上で成るべく御操作せ御附添ひ下さいどうしても附添下さることの出來ません方はお子様だけおよこし下さいまして差支はありません。

一、集合 午前八時半までに遅れぬ様幼稚園に集合

合

一、出發 午前九時園を出發磨屋町國清寺間電車

一、借切、午前九時四十分國清寺驛發三幡着十時十五分

一、三幡 三幡にて水族館見物

一、宮道 畫食、覗拾ひ、宮道午後四時三十分發國清寺驛着午後四時五分

一、歸園 國清寺驛より電車にて歸園(午後五時解散)

一、經費 大人一人に付二十錢(電車及輕鐵賃錢

共)

幼兒の負擔は全部愛兒會の方でいたしますから
いりません。

一、服裝及攜帶品 服裝は日常の通り水筒のある
ものは携帶、辨當。

參加幼兒は前日園醫によりかなり綿密な身體検
査をしました。

待ちに待つた當日が参りました。前日の雨は残
りなく晴れてこの上もない好遠足日和にあつて二
百餘の園児は喜び勇んで定刻八時半より早起きは一
時間も前からそのにこやかなる顔を園庭に表はし
三々伍々今日の樂しさを語り合へるさま何とも言
へぬ純真さであります。いよ／＼附添父兄共に(同
勢三百六十人)幼稚園を出發して電車に乗り輕鐵
に乗りかへて午前十時すぎ三幡驛に到着。直に水
族館に入りました。鯛やひらめ。ちね。はも。ふ
ぐ其他の魚類の生活振りをしばらくみとれ此上も

なき興味を覚え且驚異の眼を以つて時の移るも知
らない程であつた。早や發車の時間がせまり魚を
心に残しつゝも又輕鐵に乗た鐵道の沿線は青々と
した稻田でないと心地よく互に喜び語り合ふ内に早
くも宮道驛についた。川邊は綠の毛氈を敷きつめ
た様な青草や芝生の上に莫蘿を敷き天幕を張りて
我一行を待ち受けられて居つた。しばらくそこに
休憩してから晝食しました。前には旭の清流を眺
め脊後には人丈けにもあまる芦が立繁り實に其涼
しさ何とも言葉には盡されません。全く天國に遊
んだ氣持です。誠に子供の遊び場としては適當な
處であります。食事中からボツ／＼と引潮となり
みると中に一面の大きな洲に化してしまひまし
た。食後しばしの後輕き仕度をなし手に／＼籠や
其他の用具をもち勇み勇んで一目散に覗取りにか
りました。其活氣溢るゝ有様全我活動とは實に
この事でござりませうか。懸命に覗を拾ふもの大

きなのみ拾ふもの極小さなのみ集めるもの大小ごちやまぜに集めるもの。かにを追ふもの、自然の大砂場にて山を作るもの。池を堀るもの、疲れた眼に空をあふげば西南には高く兒島富士の秀峯そびえ近く帆掛船や巡航船の航行も瀬繁で山水の佳景を一瞬にあつめるといつても過言ではあります。又淺瀬でボートや小舟を浮べ相互に乗つて喜ぶものの舟をエイサーと押合ふもの實に愉悦其のものゝようです。子供がこんな生活によつて思ひ切つて遠慮なくそれゝの個性を發揮する様をみて何とも言ひ知れぬ或る尊いものを感じました。

この日の幼児相互の問答にこんなものがあります

- 一、川に澤山あつた水がどこへいつただろう
- 一、覗を澤山誰が蔵いたのでせう
- 一、このお池の水はどこからくるのでせう

一、帆掛舟がひとりで行くのは妙です

などきゝ捨てにならぬ最ももしろい問答の數々

が起り其貴い疑問や其觀察の鋭敏なることは驚くの外はありません。午後四時歸途につきました。又輕鐵に打のり白いエプロンの掛けた天使のような幼児が勇ましく窓から日やけのニコ／＼顔を出し汽笛と同時に萬歳々々の聲を残して汽車は進行しました。間もなく國清寺驛に着し市電に乗りかへて附添人のあるものは隨意解散し殘る幼児は保姆と共に幼稚園まで歸りそれ／＼歸宅させましたそして楽しい夢路を辿つたことでせう。

十
一
月

よ
し
こ

十一月冷き秋の音たてゝ桐の落葉はさらさらとゆく
氣づかざりうす紅の山茶花はよき姿して秋を愛でるぬ
佳き人の薰香のと秋たけし雨の夜道にかかる木犀
十歳の子が種まきし花コスモスはすくくのびて秋をうたへる
そのまゝに染めて仕立てゝ生みし子のたもとに見たき大輪の菊
せがまれて厚紙與ふ六つの子は飛行機つくりぬ神わざのごと
さくら貝五つならべし指の子は描き居り畫用紙一ぱいに
足跡を縁にののこしてめりんすの床にふかくねむれり幼き子
物愛づる身の幸を忘れ來ず生れいでしを子の性にみる
紅筆の紅がほしとて西京へ旅する人をまちてゐるかな

保育座談會

——粘土——

時日

十月二十二日午後三時半から

場所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

出席者

倉橋教授、堀主事、及川、新庄、菊池、神原、

徳久、白根の各保姆

神原

製作についてお話し願ひます。

堀

材料からいつて製作の種類は？ 粘土、紙、

さびがら、木、その他に？

及川 さびがらも製作に入れますか、「剪り紙」と同

じような意味だと思います。

堀 「さり紙」だつて勿論製作ですよ。

新庄 まさつて居る所もあるのね

堀 デザインをしてすれば繪も入るから。

そこで問題を擴げないで限定してかららう。

及川 粘土製作にしたらどうです。

倉橋 サう。林料をきめた方が實際論になる。先日の關西聯合保育會で「幼兒に適應せる最新の製作物につき承りたし」といふ談話題が出たるて各保育會がら發表がありましたよ。

堀 粘土製作を話題にしたら何うです。

倉橋 それがいゝ。實際を話しましよう。

堀 粘土製作の回數は？

及川 一週に一度位してあります。こゝでは粘土を割合に不經濟に使つてありますから冬などは寒

くて冷めたいからといふ理由の外に學年末など經濟的にも粘土製作が出來なくなる事が多いの

です。今年は少し考へて同じ粘土をながくいく度も使ひたいと思つてあります。

幼兒がつくりてから直ぐにこわすといふ事は出来ませんが適當の時にかめに返せばこれを少し

ねれば又つかへるのですからとつておく作品の外のものはお部屋にいつまでもから／＼になるまでおかない様にしたいと思ひます。經濟的に氣をつけて使へば自然粘土も材料豊富に使へることになります。

堀　其處で、粘土の製作價値と經濟問題になる。
果して製作したものをお供の居ない所で毀して次の種にしていいものか。

及川　個人的に考へたら残しておけばよろしいのですが古くなつたものをごみ箱に入れてはごみ屋で困ります。粘土製作をする度毎にいくらか減るのを補ふといふ程度にするためには手まめに粘土をとらあつかはねばなりません。

堀　本當は子供の粘土は長く保存して、ひゞがいつて屑扱ひする必要があるか否か。

倉橋　子供の方では何う？　作つたものを何うしますか。

及川　無論暫くは見て居りますが、こちらで氣の毒と思ふ程ではなささうです。子供に聞いてはみないのですけれど、いた／＼しく思ひながら毀して居ります。長くお／＼とけばきたならしくなります。焼いてゐないから。完全に保存出来ればよろしいのですが。

堀　それで外の幼稚園で流行らないのだね
倉橋　經濟上の理由でね

及川　一貫目四十錢で一ヶ月に二十貫目ぐらゐ費ひます。一組で一回に八十錢は費ひませう。此の頃の様に暫くと絶えてた後では粘土を買入れたとなるとドコの組でもはじめのぞ一ベンになります。

堀 作つたものが毀れ、ひどれるまでになつては

良い氣持がしないだらう。

及川 自分のこしらへたものがこわれて泣く子もあります。加減もむづかしうござりますが、選つて残してあくことにして、全體としては残さぬを本態としたら如何でせう。

新庄 中には残してあかないでもいいのもあります。

倉橋 何れくらゐは残してあいててもいいのですか。

及川 その日のうちにかめに返せばよろしいのです

新庄 何の子のもといふわけにはいきません。保姆が考へてみんなが見て置いた方がいいと思ふのは残してその他は經濟的の理由からくづして使ふようにしてねます。

及川 手があると小使が毀して水を入れて、つい

て又使へるようになります。一人だからいひつけるのもかわいさうとして。

新庄 賴めば出来る時間はあるようですな。

倉橋 こゝらで問題を少しづらせて、粘土製作で子

供や先生から見て残してあくといふ程積極的意味がないのもありますね。

及川 残してあこうと思ふのは大抵同じ子供です。

新庄 きまつてゐます。

倉橋 斯うしたら何うでしよう。先生から見て價値あれば残す、標準は論じないで。子供の方で實際明日の何々の遊びに使ひたい、他の仕事に結びつけるのならこれも残すと。その他は製作しただけ、形が作られただけ、そこでいいことにして、つぶす。

及川 習作の時はね

新庄 ラクにつぶせますね

堀 僕は百姓の子供で田圃の泥をこねてぶつけっこをするし、團子をこなへたものだ、目的があつて鐵砲玉を作つた時にはそれが硬くなること

を希望したが單に形をこなへた時はその後は何うでもよかつた。

及川 心苦しく思つてつぶしますがね。

倉橋 心苦しいのは教育者の細やかなる御心持ですね。事實心苦しい事がありますか。

及川 先生、僕のを何うしたのつて聞く子があります

堀 そりや子供は思ひ出す。

及川 まあ、つぶしていゝといふことになればラクです。

倉橋 幼稚園の粘土製作は幾度も作りかへるとい事に、

堀 子供の水あそび、砂あそび、田圃の泥いぢりは同じようなもの、都會では田圃泥ぢや汚だないから粘土

倉橋 あそび、泥いたづらの材料を吟味した場合。中には子供によつても少し製作品として楽しみ

たいのもあらう。それには少し尙んでやる。出席簿は三年間保存、子供の粘土製作はすぐつぶすぢやね。

倉橋 過程に價值があるもの、泥の場合はそんな氣い。

堀 ある場合、あそびの材料としての價值しかな樂なものがある。

堀 こゝらではあそびより製作を主にしてゐるか

ら。園子とか犬とかだの。

倉橋 實際ランダンに使へるのなら取り置いてやつていゝ。實際價值の過程が豊かにしてやられるから。

堀 それよりも後の始末がつかぬからぢやないか
新庄 それはそれとしても實際いゝものは残しあきたいと思ひますね。

堀 そんなのは焼いて永久保存しようと思ふ。是非おきたいといふ場合があらう。

新庄 そのまゝ毀れぬなら残しどきたい場合が多う

と味が出ない。

ござります。相當これを重く見たいのですが都

合上又かめにもどすといふ有様です。

倉橋 子供から考へればそうでもないことがある。

塑像家が目當なしにやつてゐる事がある。

倉橋 作つちや放ぽかすが、子供を、置いとく或は

觀る傾向に導く事も必要ですね。

新庄 粘土の長所は砂のようではなくて、後迄残つ

てゐることですから。

堺 仕上げて美術品となる。

新庄 子供の製作として粘土が一番よろしいようで

すね。手の跡があり／＼とついてゐるところな

ど。他の材料には見られないい製作が出来ま

す。

堺 仕上げするのは程度が高いが、仕上げはさせ

ます。以前に粘土窯がありましたね。

倉橋 焼く場合は器具的なもので、犬や象等は焼く

及川 一番作りたてがよろしいのね。

堺 エナメルを塗つてたぢやないの？

及川 塗る場合もあるといふ程度です。

堺 装飾も出来るといふぐらゐでエナメルは餘り

成功しないだらう。

新庄 あれを塗つては折角の粘土の味がなくなりま

す。

及川 塗ることはそんなにむづかしくはありません
がね。

○

倉橋 又問題をかへてね。作つてゐる最中、少量し
か與へられないなら團子を作つて又直して作り
かへぬと遊べないが、

及川 足りないからもつと頂戴つて申します。

倉橋 作つてゐる中は團子が出來ら暫く置いとい
て餘分にもらつて作るか。昔の、白い紙に習字

するか書いた上に書く黒い紙に習字するかの問題ですね。多くの幼稚園ではあくこねて斯うこの便利だといふので粘土製作をしてゐる。

及川 此處では足りない時には足して居ります。

倉橋 それにし度い。出来ることなら作つたものは

それで置いてあく、二分間でも五分間でも。

新庄 大概さうしてゐますね。

倉橋 少し許り粘土をやつてあくと變轉自在

堀 一本の紐で一時間も遊ばせるのと一しょだ。

及川 此處の幼兒では長く遊ばない。製作の路をこわしてゐる時子供が入つて來ないようと思ひますよ。

堀久 これは毀さないでねと断る子供もあります。

倉橋 その日中おけません。

新庄 その日くらゐはいゝのせう。お歸り後に始

末すれば。

倉橋 永久に飾る必要はないが、僕のは何うしたと

云はれるつらいな。昨日のを何うしたと云はれるなら、チュー／＼が持つてつたでもいいでせうが。

堀 乾上びたのでも水を加へて覺に長くいれればよい。これを一つ大いに研究するか。

新庄 あとに使えるようにな。

堀 出来ますよ。捨てるからいけない。

倉橋 も一度粉にするのかね。

堀 粉にしてもいい。水を加へればいいんだ。かたつむりをね。三ヶ月紙袋に入れておいたのを、死んでるかしらと思つて踏みつぶしてみた。一つは死、一は生きてゐた。も一つは水中に入れ

れたが大變收縮してゐたのがたつた四十分で段々水を吸ひ込んで元に返つて何處かへ行つてしまつた。粘土だつて水を吸ふと元に返る。打つちやるからいけない。ためてさへ置けば幾らでも使える。今迄はその時直ぐ使うとするか

らいけなかつた。

倉橋 粘土の還元を大いに研究するのですね。

堀 そのためには鋸を二つ置く。

倉橋 今迄は使ひ方がぞんざいでせう。

及川 此處の事ですか。

倉橋 よ、そ

及川 ちやんとしていらっしゃいますよ。

倉橋 此處は金持だからぞんざいかな。

保姫一同 あら、いゝえ。

堀 會計ぢや粘土を食ふかつていふ。

○

倉橋 粘土は硬くなるからといふので硬化せぬ油土

がいゝといふ人があるが如何でしよう。

及川 あれはくちくていけません。

倉橋 これに付き研究してゐないが西洋の方ではよく廣告に出てゐますね。大阪の方で發明したのは一般に使つてゐますか。

及川 家庭では使つて居ります。

新庄 色がついでいいですね。

倉橋 人工材料では現在よいのがないといふ事にな

りますか。

及川 硬くならないためには油、油ではなくさいので

す。サクーとした粗いような感じを出す此處

で使つてゐるのは贊澤粘土です。

倉橋 タツチングでゆくといふ具合にね。

新庄 關西で使つてゐるのはクリーム色で東京のは

汚ない色と仰るのを聞きますが、此方ではあの色が見なれてゐるせいか、それにざら／＼して居る所など好きです。

堀 腐蝕土が入るのと入らぬのとで色が違ふ。

倉橋 今使つてゐるのは少しも加工してないの。

堀 砂が入つてゐる。一旦粉にして水を加へてどうくにしそれをこして砂を除きそれを沈澱させて粘土をとりこねるのである。

及川 いゝ粘土は

堀 粘土や陶土を粉にして砂利をとつて上水をとつてこねたもの。陶磁器にしてもの材料によつて色が違ふ。相馬、伊部、清水、栗田焼と各々變つて来る。材料が違ひ鐵分等混じてゐるために。

○

倉地 粘土製作は寫生式が多いでせうか。

及川 果物くらゐで、寫生は餘りありません。

新庄 私の方は夫れも餘り致しません。

倉橋 彫刻家はモデルを使ふ。

及川 動物などはモデルをあい下したいのですけれど適當なモデルがありません。

堀 私の場合はモデルがいるのぢやない?

及川 澤山見てやつてあるうちに、自分の創作が出来る。

堀 パーツとした觀念でやつても、實際見てやつても、變りない。

倉橋 原始藝術ならモデルはない。

及川 伏見人形などにはモデルはありません。

堀 さうだらうか。土器などは目の前に置いて

倉橋 モデルを見て作り、次にモデル無しで自由創作して味や面白味が出る。粘土製作にも多少モデルを入れるがいゝと思ふ。

及川 果物等の時は空でるのはいやです。

倉橋 たまにはモデルなしでやるものいゝ。

新庄 子供のいらぬものが前にあると邪魔になつて寧ろ置かない方がいゝ事がある。

及川 帝展などに出てゐる彫堅とは違つて。

堀 そりや團子の丸いのは丸いのを見せなくてよい。皿だつて。

及川 こさへる物によります。胡瓜と茄子、林檎にバナ、等は前に置かれた時に良く出来ます。

堀 それは觀念の相違は實物を見なくちや

及川 二通りになるのではありますか。

新庄 果物位なら見て作らせる事もありますが、幼稚園では主として見ないでよいのではないですか。

うか。眼の前にあるものを見て作るのは小学校に行つてからの様に思ひます。幼稚園の時代にはモデルを見てするよりも、自分のもつてゐる觀念

を外にあらはした時の製作の方が、ずっとずつといつもいゝものが出来ますので、その觀念だつ

ていつかは何かを見たものが頭にのこつて居るのでせうけれど、作ろうとする時にその觀念があらはれて出てくればいゝものが出来ると思ひますけれど。

堀

畫家でも汽車を描くとなると、切り込んで描き現はすとなると實物を見なれりや。

(用意の夕食が出る。食べながらだと甘い考へも出ようといふので以下食事をとりながら)

倉橋 今の話は?

新庄 モデルを見るか見ないかですよ。

堀 見せる必要があると思ふ。觀念は朦朧で現はせぬから觀念だけで表現がよく出來たといふ事ならむづかしいモデルに比べて似よつてゐる、ぬないことになる。

倉橋 美術學校のデッサンの様に六かしくしちやいかぬが。

○

倉橋 粘土製作では昔は小さいものを與へたからち團子作りで、例の纖細をさせて大きな物を要求しますが、實際問題として自分にも分らないが何れ位に迄出来ますか。

新庄 安定した形にさへすればかなりの大きさの物が出来ます。動物は脚が立ちません。立つものを作るのは出来ません。工夫しては見ますが、ヒゴを入れたりなどして。

倉橋 立つてゐるものとして、大きなものを作るの

を愉快とするでせうか。

神原 大きな飛行船を作ります。

及川 山の組では大きな飛行船を描きますね。

堀 大きく描かぬとツエツペリンにならぬから。

けれ共大きなのは粘土の素質に合はない。

新庄 あんまり大きなものは出来ません。

堀 その點で、此處でもちぎつた塊りをわたすが

合作に。

及川 中心があつてですか。

堀 子供みんなの合作。

及川 誰が作つたんだか分らなくなる。

堀 粘土を分けないで大きいものを出すと、やり

度い者だけがやり、他は他の仕事をさせる。

及川 準じりに何時かは大きいものを貰へるよう

したらよろしいですよ。

新庄 今まで子供の作る物によつてもつとほしがる時に與へて居ります。

堀 と云つてもあのかたまりをせひべ一いつか三

つ。

及川 けれども力よりも多過ぎるとすぐ投げ合ひに

なります。

堀 子供の時の泥合戦だ。

新庄 こさへようと思ふ物が立たないからの場合も

あるわね。

堀 そんな時、先生が台になるものを指導しなく

つらや。

倉橋 昔は實に少しの材料を與へた。

及川 そして製作始まりも終りも一齊だ。

新庄 餘けいに貰へなかつたの。

堀 どころぢなく號令かけてやつたのだらう。

新庄 同じ形の物を作るの

倉橋 お團子十三皿だ。

堀 田舎へ行けば今だつてありますぜ。お團子だといつて青桐の實くらゐのものを葉にのせてあ

る。高い粘土を少し許り買はないで何故こゝに

ある泥を使はぬかつて私は云ふ。

○

倉橋 粘土製作を非常にしたがる子供とそれほどで

もない子供とありますか。

及川 いやだといふ子供はありませんね。幼稚園の
仕事中で一等好きでせう。

堀 出来る子は勿論、出来ない子供にも何うにで

もなるから。

倉橋 あゝいふ種類の活動満足は外では得られぬ。

(筆記掛りにも食事をせよ、人道のためにだま
つてませうといふ御厚意のためか暫く話は絶え

る)

堀 最近の作はありませんか。

徳久 作つたのは子供が持つて歸りましたが。

堀 どれ位で硬く乾いたのが元に返るか實験した

い。

徳久 そんなのならありますわ。(持つて来る)

堀 粘土を持つて歸り度がりますか。

及川 あんな粘土はあまり賣つてゐないからです。

堀 コーラルタールを賣る所を貴女方が知らないと

同じ。

倉橋 これは何日に作つた自動車ですか(寫眞のも

の)

菊池 運動會前ですからもう十五日になります。

堀 この車の輪のつけ方は何う指導するの?

倉橋 一人で致しました。

堀 こんな物を附けるのは手極を要する。

○

倉橋 も一つ問題をかへてね、自動車は中が空いて

ゐるから紙とか木で作つた方がよくてリンゴと

かバナヽは粘土にした方がいゝと考へませんか

及川 餘り考へません。皆さん考へますか。

倉橋 考へてみる問題にならぬものか。

堀 問題になる。この門など四角にしてスヂつけ
るくらゐの技巧だ。

倉橋 作るのを止めるわけにもいかぬが。

○

及川 粘土の指導法つて何うすればよろしいのでせ
う。

倉橋 段々上手になると、言葉は使へますか。

新庄 大變に上手になる子供と、手極はよくなる位
で發達の見えぬ子とあります。上手になる子供は
きまつて居りますね。

及川 繪の上手な子供は上手ね。

堀 粘土には上手下手がありますね。

及川 粘土の指導法には困りますわ。

堀 自動車の輪の場合のようなどき、繋ぐ所を指
導するかしないか。

及川 それもありますが、それでなくて。

堀 第一に、自由製作なら指導出來ない。子供の

考へて居る所が分らぬから。

新庄 彫塑の指導と違ひますからね。

倉橋 何時だつたかの「堀進二さん」を願つて講習
した時ね、みんなが作つたものを持って行くと
お互同志の手を見合つて作つたが、それを堀君
が一寸手を添へると作品が生きて來たね。藝術
家は弟子を指導して居るでせうな。

堀 庄 藝術家が弟子を指導してゐる方はた易いと思
ひます。

倉橋 その程度ぢやないが、材料を扱つてゐるのだ
から指導した方がいゝ。

堀 いゝでせうか。

及川 自由にこさへさせる、只製作慾を満足させる

良くならなくも打つちやつておいてもいゝだら
うか。先生の作ったものを模倣させるとかモデ
ルを見せるとか多少、指導してもいゝと思ふ。

及川 それだと私はラクなやうな氣がします。

堀 何時もそれではいかんから丸くするには斯う

するとか、くつづけるには斯うするとか、此處
を引っ込めればといふ指導があつて然るべきだ

及川 でもそこが自分だけで子供に分るか否か。

倉橋 繪なら其處がもつと分り易いもんだから少し
は出来るんだが

堀 その意味で粘土は程度が高い。擴がりもひろ

い。この意味で指導法を考へることだ。

倉橋 指導すべきだが、我々には出来ないからとい
ふ譯か。

新庄 口だけで云つてはいけないでせうか。自分の
を見せるのは困りますわ。

倉橋 その時、こゝは滑つこゝ、といふ指導法も困
る。

堀 今の所粘土は一番指導法が臍病だ。

及川 そう、殆んどしてないんです。

倉橋 それは諸君が鑑賞眼があるからだ。

及庄 けなされてゐるんだか、ほめられてゐるのか

堀 外國ではかなり感じの出たものをモデルにと
つておく。

新庄 子供のいゝ物をとつてあいては。

堀 子供と限らない、大人だって。もつとモデル
を置こうかね。

皆 そうすると又そのモデルに困るんですもの。

堀 感じなんて云ふ事を子供に要求するのは無理
だ。一足とびに彫刻を見てるからそんな事を要
求するのかも知れん。

倉橋 林檎か柿か分らぬやうな時吾々は直す、こん
な意味 添削はしていゝ。

堀 子供らしい、らしくないで指導出来るぢやな
いか。感じが出た出ないのはもつと後でいゝと
思ふ。

倉橋 子供が作った形の悪い物が意外にも走つて
時がある。

一同ほんとにね(こまる)

及川 大人がすると滑らかできれいになるから出来上つたものを見るといやになつちまふ。

堀 消しごむを使ふのも大人が教へる。指導の仕

方が問題だか或場合は指導せねばならん。

新庄 いつも出来ないけれども林檎ならしますわ。

倉橋 いつも謹んでます。さつきの新庄さんの云つ

たように、言葉で注意を促すのはどうぞせう。

新庄 成るべくそれもしませんの。外のきり紙か何

かだとしますけれど何だか粘土はしにくくて。

及川 ぢや、大膽に指導をしますか。

倉橋 やつていゝでせう。

堀 或る點では教育はつまり天才を凡才にしてる

んだから、外の場合ではやつて粘土の時に限つて手を引いてるなんて。木工などは大方先生が

するだらうに。

新庄 それは子供の力が足りませんからですわ。

倉橋 こつちで手をつけることはこわくて仕様がな

いから恐るゝ謹んで申上げる程度に。

新庄 その位の程度に願つて、作ることは御免ですわ。

堀 そりや出た、先生の手が汚たなくなるからね

新庄 ほらまた始つた。ほんとにいやな先生つたらありやしない。(思はず立ち上る。一同笑ひながら茫然)堀先生はすぐ不精で片付けておしまひになるからいや。

堀 めんどうくさがるんだよ。だがまあよそうヽヽヽヽ。とにかく先生も段々稽古してやらなくつちやいけない。僕は手工で粘土細工をやつて

みたが茶碗だつてなか／＼出来ない。第一ヘラの使ひ方がむづかしい。

新庄 幼稚園の先生は繪も、粘土製作も音楽も、踊りも出来なくちやならない事になりますね。

堀 上手になれといふのではない。

新庄 だけど満足出来る點にはなか／＼ですわ。

堀 粘土の時、先生の材料も持つて行つて一緒に

稽古すればいいぢやないか。大人がやつても大

人は大人で面白味がある。

新庄 やりたくて仕様がないのですけれど。堀先生

つて私にばかり仰る。

堀 みんなに云つてるんだよ。

新庄 白根さんも仰いよ。(と、つつく)

堀 白根君は實習科の時やつてゐるだけにこの問題はちゃんと出來てゐるので澄ましてゐるのだ

ね。

倉橋 そんなことはシラネですか。

及川 一番むづかしい

新庄 それだけに出来たものはい／＼のね。

倉橋 繪だつてそんなものでせうが。同じく觀念的

ですかね。

新庄 顔が暑くなりましたわ。梨でもむきませうか

倉橋 だけどどもしろい。

倉橋 あそこに氷枕がある。

及川 先生は先生で勉強しますかね。

倉橋 先生を水に入れて練り返すか。

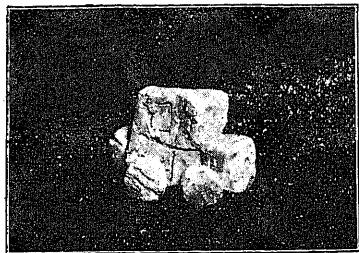
新庄 まあずる分……一番硬さうですわ。

堀 だからね、その上金はかかるしさ、よそではやらなくなる。田圃の泥をこねてやるぐらゐの

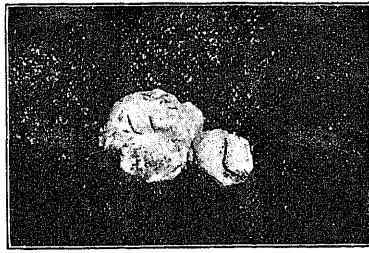
粘土では立體に表はせるその愉快は大きいものでせう。これからこれを使って遊ぶのが大變でせう。

及川 これが硬くなりますとね。

堀 その意味でやかましく粘土製作を廃して玩具にします。製作實用品にまでと主張する人があります。子供がこさへた物も大人が良いものとして使えるように。こんな自動車は脱線して問題になる。



小學二年生作る



幼兒作る

新庄 子供が作ったから

ですね。

倉橋 大人が作ったもの

倉橋 面白いね。この頃は勝手に作らせておく場合
園子やリンゴバナ、ばかりの子供はありません
か。

だつたら悲しくなる

倉橋 誰が作ったの。

堀 誰が作ったの。

菊池 私の組（森）の子

供。こちらは小學校

及川 板一枚を場面としてその上に何かを作ります。
及川 遊びにね。

の二年生が遊びに來

堀 立たせられないから、人の立つのは大變だ。
あぐらかいたのは？

て居りまして、そち

及川 足を出したのはあります。

らは實習科の生徒が

堀 足のやり場がないから。

作りました。

及川 困つたわね。

堀 大人のは屋根にカ

及川 足を出したのはあります。

一ノ木がある。その代

及川 大人が作ると全體よりも細部になる。こんな

りに小學生のは後に

新庄 勉強しませうよ。

タイヤーがついてる

から。

自動車が面白いのは、變つた面白味で原始的なものを見る場合

變つた面白味で原始的なものを見る場合

新庄 そら、また、堀先生のおつしやり度い所ね。かねぐ分つて居りますよ。

堀 何も白根さんの髪の形をいつたんではあります

せんよ。

倉橋 座談會には警親廳へ電話をかけとく必要があ

るね。

新庄 白根さん、あなたの加勢してあげたのよ。

白根 ちやく、どうもありがとう。

堀 加勢した積り? 僕は貴女の頭を見て言つた

新庄 生れつきだから仕様がありません。

及川 生憎と又正面に座つて。(大笑)

○
日茶道の本を読んでゐた中についたのですが、數寄屋のスキを解釋してキは奇數の意味即ち偶數のようにきちんと整つてゐない面白味、この頃のようになんちやんとしてゐるのはスキの本式ではないとありましたがね、「玉子に目鼻」よりも「まことに目鼻」が愛嬌があるわけでせう。

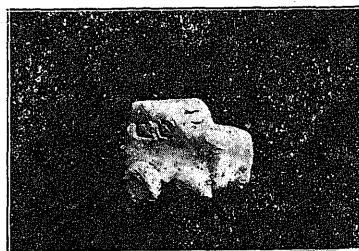
新庄 デコボコがいい事になりますか。
堀 餘り丸くても困るが又デコボコ過ぎても困る
及川 女の髪でも

徳久 始めて幼稚園に入つた子供の粘土製作にモルを見せるのでせうか。

及川 こさへたものをですか。

徳久 その外實物でも。

及川 今迄ちつともいぢつた事のない子供には粘土



る 作 人 成

にさわらせるだけでもいいでせう。

倉橋 心理的にいへば、觀念から作るよりも作つて

ゐるうちに觀念が出来る。

堀 子供にはその方が多い。いちくつてゐる間に斯んなになつたからくつつけようといふように新庄 その場合でもどこかに元の觀念があるのでせう。

倉橋 極めて漠然とある。

新庄 こさへてゐる間に變りはしますけれど

倉橋 材料を製作して行く事とて、そのうちに形を

出して行く事になるので始めから物を作るとい

ふのはむづかしい。いちくつてゐるうちに四角

く、長く、丸くなるのを材料から發見する。

新庄 大體の觀念があるのに、粘土は自由に變つて行かれるから好きなんでせうね。

倉橋 その變つてゆく所にね。座談會の如きものだ

堀 砂だと保たずに崩れる。木材では努力がいり

すぎて思ひ通りにならず、粘土はその間にあるから都合がよい。

倉橋 觀念の發達矯正には力がある。紙でも材料に

支配されて觀念がとめられるし、繪だつて案外に觀念が思ふまゝにも出ない。粘土ならこの自動車のように出來た所で満足してゐられる。

新庄 繪は描け過ぎるからでせう。

倉橋 觀念が不備なのと、觀念はあつてこの程度で

満足してゐるのである。

及川 この自動車はどつちが先に出來たのですか。

菊池 子供が先に作りました。

堀 輪はどうついてゐるの？

倉橋 リンゴや人の形を作ると違つて部分品をつけるなくつちやならぬ。それを着けるうちに形が變るのでせう。輪をつけない初めはチヤンとしつてゐるから出來てゐると思つてゐるかも知れぬ

(以下八〇頁につづく)

箱の家

及川ふみ

今年の五月頃から紙の空箱を幼児の家庭から二
つ三つづゝもつて来てもらつてお家を作りはじめ
ました。

しゃぼんのあき箱、お茶の罐の箱、お菓子の箱
帽子の箱など各自包も形も種々様々にちがつてお
ります。一人の幼児が一つは家の外形をつくり一
つは室内をつくりつまり二つ宛つくるわけになつ
てあります。

ボール紙などの平面なものから立體の家に組み
立てる時にはつぎ目をのりではり合せ又は糸で縫
ひつけたり鉛筆とめたりいろ／＼の方法をとりま
したがなかなか／＼精確な形にはなりにくい、又出来
上つたものがすぐにはがれたりはづれたりします
又ボール紙そのものも厚いものなれば出来上つ
たところ形もよくどつしらとしますけれどもなか

ふ位にとゞまつた時も澤山ありました。それは幼
児には少しうづかしくて保母の力でやる時もあり
ました。それで「なるべく幼児の手だけで出来る」
といふ事を主として考へて空箱をつかふ事にした
のであります。

／これを切りこなすことがむづかしい。薄いボル紙なれば製作中は割合にらくでも出来上つたものが立派に立たなかつたりいびつになつたりして見苦しい形となります。それで幼児の手だけでほとんど出来て、かも形もよい家をつくりたいと考へた末やうやく空箱の利用といふ事になりました。これは他の方も早くに考へになつたかもしれませんが、私としては自分でいつも苦心してありました時に考へ出したので私自身としては誠によい思ひつきとほんとにうれしくて勇氣出してやはりはじめたのであります。それからは幼稚園の戸棚や自分のうちの押入からいろいろ空箱をあつめました。又幼児にも空箱をもらつて來る様に話しました。

空箱ですと大體の形は出來てゐてしかもどんな箱でもそれだけの形としてとゝのつてゐてつぎ目などしつかりついてゐる一番骨のあれるところが

最早や出來てゐる形もいろ／＼ちがつたのがあります。それだけでなしに幼児の個人製作として各自がするとなるとボーグ紙も澤山に入用になつて經濟上なかなか容易なことないが、空箱であれば只何の用もなく捨ててしまふのを利用するわけになつて又誠に得ある材料であります。

東京地方の方々には去る十月の談話會の際に製作中の澤山の家を御覧いたしましたが、まああれで八九分通り出來たわけですがあれが五月六月七月九月十月とながい間つゞけた仕事であります家の外部の方は先づ大體四角い形の箱を下向けてその四方に或は窓をこしらへたり入口をこしらへたり窓わくを色模造紙ではつたりくりとつた窓には硝子戸の様にセロハンをはつたりしますが幼児が一つ一つの窓の紙から枠の紙など切つてはるので一度にいくらも出來ません、入口には表

札をつくつて各自幼児が片假名で姓名をかいておきます。

室内の方は大きな窓丈けは保姆があらかじめ切出しきりとつておきます。その窓にセロハンをはつたり窓わくを作り額をこしらへたり（額は茶色ボーレ紙などの上にさりがみて花や家や景色などを幼児が各自考へてつくります）ティブル（ボール紙の薄いもので）や椅子や時計や本箱などいろいろすきな道具をボーレ紙でこしらへておきます又クレームベーバーでカーテンをつくり天井から電燈などつります。自分の家にあるものを見てきては窓に植木鉢に花を植ゑたのなどつくつた人もありました。或る日は窓わくをはつただけではあるときもあればある時は額一つだけのときもありますからなか／＼ながくか／＼ます。それにこの仕事が毎日々々つゞくといふ事は保姆も幼児もつかれますから間に外の作業もまぜてする事にします。

三十人の幼児が一人に二つづ／＼なかには大きな箱の人もありますから、一坪位の机の上にあふれる程になつておりますが、そのままならべておきますと時々には自分の家やお友達の家をみてはよろこんであります。

それに實習科の人々四人が中心になつて郵便局幼稚園おもちゃや停車場などを幼児の共同製作としてつくりかけております。こうして大體まちの形をと／＼のへる事になつております。

今度の計畫は大體私自身が中心になつてやつておりますので、すべてどの幼児にも相談相手となつてやりますから、一度に四五人づ／＼の幼児しか出来ません。

この作業を實際にどんな様にやつておられますかは次の日誌の一節で御承知いたゞきたいと思ひます。

十月八日 火曜日 曇後晴

て時計をつくる。

今日のお家つくりは

あや子さん

繁哉さん

三越ビルディング

お茶の罐の入つてなあき箱茶色で七八寸位の長
細い箱、丁度上に國のマークがついてゐる屋根
を三角にくみ合せて糸でとめておく

四階建として窓を四段につける

今日は窓は皆はりつけてあるから窓わくをは
りつけるのであります。

治さん

室内をつくる。窓のガラス戸も出来たので窓か
けをつけてテーブルをつくる

忠雄さん

お家の窓わくつくり

うた子さん

お部屋の窓や窓かけ椅子テーブルも出来上つの

あや子さんの箱は支那のもまんじゅうでも入つ
てたのか赤の細かい更沙模様の箱であつたので
窓わくは全部黄色でとつて窓も少し曲線を交じ
て支那風にしてみた

賢三郎さん

小さいひさしに色紙をはる。

色紙の澤山入つてゐる木の箱を机の中央にい
てその中から各自が入用なものをとつて使ふこと
にしてゐる。つぎ／＼と問はれるまゝに相談して
こしらへるのであるからいつも大抵この位の人數
でやります。

である。兩方の部屋の戸をあけはなして時々そちらも氣をつける。

女の子はお部屋の一方にござを敷いてあまゝごとをはじめてゐる。

十時半頃に家つくりの人たちも一段落がついたのでやめたあととなりの山の組に今朝ほど幼兒が柿のなつてゐる枝をもつてきただので大急ぎでそれをかりにいつた。地方によつてはそんなものは珍らしくもないところもありませうが、果物屋の柿ばかりをみてゐる都會の幼兒にはもの珍らしく感じられる。

あまたごとの女兒だけに右の柿を寫生させた。

これと入れかはつて積木の一團の幼兒にも柿の寫生させた。皆があはつた頃はそろ〳〵お晝食の支度のときになつてゐたので幼兒は皆庭へ出して掃除にとりかゝつた。

東京女子高等師範學校の 秋の大運動會

十月十八日、明治神宮外苑に於ける第三回目の大運動會の日。當にはならない秋の天氣、まして前日まで降つてゐたに、青空に澄みわたつたうれしい朝、感激の日である。更にこの日秩父宮妃殿下、閑院若宮妃殿下の臺臨を戴いて一層輝やかしさは増す。

附屬校園打ちよつての大家族の行事とて、人も運動種目もさまざまのみもの。ユニフォームの本校生徒の合同體操には整美にうたれるし、女學校生徒のダンスの優美さ、小學生は元氣そのものゝやう。この中に交つて幼兒達はあの廣い芝生のフィールドにかわいゝ姿を現して、つな引、遊戲と風船とり競走をした。

セルリの栽培

(八)

大 岩 金

セルリの貯藏法

セルリを貯藏するには凍らぬ程度に冷かな事が必要でありますて寧ろ多少濕つてゐる位で通風も計らなければなりませんから先づ地下室或は穴藏といふ様な場所が好都合の様でありますが以下に一二の例を挙げて記述致します。

特に寒冷でありますて凍結する様な慮のあります時は多少溫度を與へるのであります、此の場合は直接の火氣でなく間接の溫度を供給する裝置が必要であります。

畑に於ける貯藏法

温床利用貯藏法

家庭用として栽培された場合に一般的に行はれる方法であります。

その方法としましては土寄をしまして土で堤を作るのであります、が寒天が續き結氷する様になりますと寄せた土は崩れましてセルリを土表に現はす様になりますから豫め寄土した上に藁或は落葉又は堆肥等の類を三一一四インチの厚さに覆つておきますとその心配がないのであります。この様にしましてよく冬期間の貯藏に堪へ得られますけれども冬の終り即ち早春迄完全に貯藏する事は相當困難な事であります。

是はセルリが畑に生育して居りますのをなるべく根を害さぬ様に堀取して温床の熱源のない床へ植ゑ付けて貯藏する方法であります。

即ち床の内部は清潔に掃除を行つて底部は軟い土壤を三——四インチ位の厚さに入れセルリはそれをへ丁寧に植ゑるのであります。その植ゑる各株

の距離は五インチ位を普通としますから根は充分密接して植ゑるのであります。その時床面は湿润でなければなりませんがセルリ其自體に水分を注ぐ事は禁物であります。そこで植ゑ終りましたならば通風を計り床内を全く冷涼にしましてから藁或は落葉等を以つて覆つておかねばなりませんが又都合に依りましては板を覆つておきのよろしく、又其の板の上へ堆肥とか糞等を積み重ねてあるのも一方法であります。この際注意せねばなりません事は床内の空氣の流通を計る爲に通風孔を

造つておることであります。

尙この床に植ゑ込み得る量に就て申添へておきます。普通の温床としましては深さ一八インチ幅四フィート位でありますから假りに四フィート幅としまして是の平方面積内に植ゑられる株は前記株間で一四四株植ゑられる理であります。

穴藏利用貯藏法

この方法も亦床面には軟土を三——四インチの厚さに入れ凍らぬ程度の冷氣を保たせますと同時に換氣の點にも注意せねばなりません。植ゑ付はやはり密接させるのであります。それで床の土壤は濕つてゐる必要はありますがセルリにはやはり水を注がぬ様注意せねばなりません。

溝内貯藏法

是は畑へ溝を堀りその内へセルリを抜き取つたまゝで密に並べ直ちに土を以つて覆ふのであります。

是を少し丁寧に溝の兩側に板をおきセルリを並

べて落葉等を覆つて覆土するのもよいのであります
すが要するに本方法は長期間の貯蔵としましては
不可能であります。

尙晩秋から冬期にわたる長期間の貯蔵を致しま
すには相當の設備を必要とするのであります。即
ち煉瓦等で壁を造り屋根は天井を付け換氣装置を
充分に造る等の必要があります。植ゑ付等は前述
の様に軟土を敷き密植するのですが床の間
へ板で空地を造り換氣を計りますのに都合のよ
様にするのであります。

又一部分を一區域としまして板圍して通風を計
ると同時に若し發病等した場合の豫防に備へる方
法も講ぜられます。要するに本法は最も貴重な冬
中の利用を目的とするのでありますし又長期でも
ありますから最大の注意を取らねばなりません。

次に販賣といふ事に就て洗滌、荷造、整理、販
路等に就て少し考へてみたいたと思ひましたが先を
急ぎますから本稿は取り止めまして只收穫後食膳
に供する間（店頭等で或は買取つて調理迄）の保

存法に就て一言しておきます。只放置しておきま
すと香氣を失する事が甚大でありますから桶等に
少量の水を入れそれに浸しておく事であります。
是はなんでもない事でありますが、割合長く新鮮
味と養氣とを供へ便利な方法であります。

次にセルリの種子の事でありますか之も記述を
廢します。唯其目的に依りまして例へば軟白貯蔵
に適するとか丈の高いもの低いもの等があります
から信用ある種子商から求めになる事をお進め
致します特殊の事を述べねばならないと思ひまし
たが是もその要を痛感しませんから止めておきま
す。そこで本稿を終るに當りまして園藝といふ事
即ち土に親しむ事が健康上に或は娛樂として又は
金錢上の利益精神の修養（此の點は到底思ひ及ぶ
所ではありませんが）といつた様な方面をも考へ
てみたいと思つて居りましたが是も亦後日の機を得
てと思ひましてこゝでは誠に粗末な事ではありま
したが以上で一先づ筆を止める事に致します。
本稿を發表させて戴きました主幹堀先生の御好
意を感謝致します。

童話二つ

水谷年惠

酔ばらひ猫

猫が金持の狐のうちへ泥棒に這入りました。誰

も居ないので、臺所へ行つて、色々な御馳走を澤山食べました。ついでに酒もうんと飲んで、いい心持になつて、出て來ました。足がふらくしてちやんと歩くことが出来ません。

道端に一匹の墓がじいつと坐り込んでゐました
酔ばらひ猫は、

「誰かと思つたらげいろか、アツハ、ヽヽヽ。のろ間の、のろ間の大馬鹿げいろだ。さあ除いた、除いた。猫様のお通りだぞ。除かないと踏み潰しきました。踏み附けたと思つたら、墓は一足むか

てしまふぞ。」と言つて、眞赤な顔をして、酒くさい息を墓にふうつと吹きかけました。墓は、「くつくつ」と笑ひました。

猫はおこつて、

「何ぢや、猫様のも通りを邪魔する氣だな。ようし、見てろ、今踏み潰してやるから。」

と片足をあげて、踏み潰さうとしました。すると、墓は重さうな體を、どたつと一跳はねて、だまつて笑つて居ました。猫はよろよろとよろけて、「こいつめ、生意氣なまねしよるな。」

と言つて、も一度片足をあげて、力一ぱい踏み附けました。踏み附けたと思つたら、墓は一足むか

ふぞ、すました顔をして、天を眺めて居りました。
「おのれ、このげいろめ、今度こそ踏み潰してや
るから、待つてろ、えい、やつ。」

踏み潰さうとした拍子に、墓はどうこいしょと

前へ移つて、「此處まであいで。」

よつばらひ猫は、腹が立つて、腹が立つて堪り
ません。踏み潰してやらうとあせればあせる程、
踏みそこなつて、よろけてしまひます。

「此のげいろめ、踏ん附けなきあかんぞ、待て
待て、こら待て。」

よつばらひ猫が、片足あげて、踏み附けようと
すると、墓がどたつと跳ねる、どたつと跳ねると
よつばらひ猫が踏みそこなふ。何遍も／＼踏みそ
こなつて、とう／＼川の縁へ来ました。

「こんだこそ踏み潰すぞ。」

よつばらひ猫が片足あげて、力一ぱい踏み附け
た時、「どぶん」と、墓は水の中へ飛び込みました

「あつ。」と言ふ間に、よつばらひ猫も、川の中へ
「どぶん」と飛び込んでしまひました。

猿と焼栗

山の中の一軒家の圍爐裏端で、三太郎が焼栗を
食べてゐました。小刀で栗の皮に、一寸傷を附け
て焼くと、栗は焼けても飛び出しません。三太郎
は傷を附けては焼きました。焼けたのをさもうま
さうに頬ばつて、舌鼓を打つてゐました。

三太郎がうまさうに栗を食べてゐる所を、窓の
外から、そつと覗いてゐたものがありました。そ
れは三匹のいたづら猿でした。

猿どもは焼栗が食べたくて堪りませんでした。
それで三太郎が柴刈に出かけると、すぐ家の中へ
這入つて来て、圍爐裏端にあつた澤山の栗を、一
度に火の中へ入れました。皮に傷が附つてありま
せんから、しばらくすると、栗が皆ふくらんで、

ばちん、ほん、ほん、ほん。

と、素晴らしい音を立てて、四方八方へ跳ね出しました。

三匹の猿は、びっくり仰天、「大變だつ」と一目散に逃げ出してしまひました。

其のあとへ、兎が三匹、遊びに來ました。三太郎の家へ這入つて見ると、誰も居ないで、うまさうな焼栗が、そこら中一面にちらばつてゐます。三匹の兎は、焼栗を皆拾つて、笊の中へ入れました。

其處へ三太郎が歸つて來ました。

「うさちやん達か、よく來たね。おや栗を焼いて呉れたのかい、どうも有難う。わたしはもうさつき食べたから、お前さん達も上り。」

と言つて、焼栗を一つ残らず呉れました。三匹の兎は喜んで御馳走になりました。

東京市玉姫託児所の竣工

東京市社會局の市内十一ヶ所の託児所中、月島、大塚、龍泉寺の三ヶ所は設備の整つた立派な本建築になつてゐるが、今回更に玉姫託児所が竣工したので今月九日午後一時から落成式を舉げた。同託児所は鐵筋コンクリート二階建て建築設備費五萬餘圓、紫外光線入りのガラスを用ひた日光浴室の設備は東京市では初めてのもので、この室だけにも三千圓をかけてゐるといふ。また兒童浴場もボイラ一二個備へてあつて隨時に入浴する。となほ、市では残りの託児所を來年二月までには全部本建築とする由。

くるくるくるくる(律動)

E. D. M.



くるくるく（律動）

土川五郎作

七八

- 1前半節にて拍手二回 後半節にて両手をつなぎ足踏二回
- 2左へ駆足四歩
- 3両手腰にて右廻り正面を向く
- 4足踏三回
- 1'又曲の繰返しにて拍手二回足踏二回
- 2'右へ駆足四歩
- 3'両手腰にて右廻り正面を向く
- 4'足踏三回
- 5連手して前進（圓の中心の方へ）
- 6右廻りしつゝ拍手三回背面を向く（圓の外方へ）
- 7前進す（圓の外方へ）

8 右廻りしつゝ拍手三回（圓の中心の方に向く）

9
10
11
12 5 8迄と同じことを繰返す。

13 右左両生相對し前半節にて拍手二回 後半節にて両手を取り足踏二回

14 前半節にて各右足をあげ左足にて跳び後半節にて左足をあげて右足にて跳ぶ

15 連手のまゝ左方より（相手の右より）駆足にてまわり位置の交換をなす

16 足踏三回

13' 曲の繰返しにて13と同じく拍手足踏

14' 右足をあげ左足にて跳び次に左足をあげ右足にて跳ぶ

15' 左よりまわりて位地の交換をなし元の位地に歸る

16' 足踏三回

()
1 正面を向き左足一步前に左膝の上にて左掌上に右掌と合せて拍手二回、後半節にて右歩一
歩前に同じく拍手す

2 駆足四歩（圓の中心に向つて）

3 兩足を拗へ両手を左右に開き（掌下にして）膝の屈伸二回

4 兩手を頭上に丸くあげて右廻りをなし圓の外方に向く

1' 2' 3' 4' ……(1 … 4) 返と同じことを繰返して圓の外方へ行きて終り正面となる

5 ……左方へ駆足四歩（此の時左右に開きたる兩手を前へまわしつゝ）

6 ……拍手しつゝ右廻りして反對の方を向く

7 ……右方へ（圓の中心に向つて右）駆足四歩

8 ……拍手しつゝ右廻りして反對の方を向く

9 10 11 12 ……(5 6 7 8) と同じく繰返す

13 14 15 16 ……第一の終りと同じことをなす

昭和四年十月六日作

(六五貞よりつゞく)

堀

それ／＼の觀念になるとあやしいからね。牛と馬の顔が違ふ事は知つてゐても具體的に現はすと大變むづかしい。

倉橋

それが面白いことには斯うやつてゐるうちは分らぬが製作をやつてゐるうちに表現活動を媒介して觀念を矯正してゆく。

堀 現はすために觀念が明瞭になる誰れの觀念も

案外不明なものだ。牛にまゆげがあるか知つてゐますか。いざどうか描かうとなると實際に見てみなくつちや分らなくなる。

倉橋 なる程ね、本當はどうなんかい？

新庄 あるような氣がしますわ。二三本。

堀 さうなんだ。——今日はもうこの邊でおしまひにしよう。

雑錄

鶴君。岸和田 佐藤満壽君。神戸 小林まさゑ君)

二、幼児教育上如何ナル方面ニ力ヲ注カレツ、

アルカ(吉備保育會提出)

○第三十六回關西聯合保育會

第三十六回關西聯合保育會は、十月十七日、神

戸市縣立第一神戸高等女學校大講堂に於て開催せ

られ、神戸、大阪、京都、名古屋、岡山の五市の

會員無慮千三百餘名會合、非常の盛會であつた。

神戸市保育會長の開會の辭、兵庫縣知事神戸市長

の祝辭あり、會務の報告の後、議事に入り、先づ

別記の三建議案に就て協議し(別項參照)次に

○談話題

一、幼兒ニ適應セル最新ノ製作物ニ就テ承リ度

シ(名古屋市保育會提出)

(説明。名古屋 木村りん君)(發表。岡山

折井彌留枝君。大阪 城村君。京都 坂本田

○研究發表

佐藤君。京都 江川すめ子君、名古屋 日沖
てつ君。神戸 川野錦水君)

○協議題

一、保育上情緒ノ教育ヲ如何ニ取扱フベキカ

(京都市保育會提出)

(説明。京都 鹿嶋多眞君)(發表。多古屋

片野ひで君。岡山 三戸花子君。大阪稻葉梅

君。神戸 大久保智教君)

二、保育時間ノ延長ニ就テ(大阪市保育會提出)

(説明。大阪 米山えん君)(發表。京都 新

宮せつ君。神戸 池龜まさの君)

一、幼兒の証言に就て 大阪市(富 はま君)
 二、圖畫の取扱に就て 岡山市(奥本 富子君)
 三、幼兒の言語發達に就て

名古屋市(市川 たま君)

四、知能検査に就て 京都市(藤波 かず君)

五、幼兒の身長、體重、胸圍の標準評點に就

神戸市(石塚 千代君)

て

○講 演

家庭教育の充實

倉橋 惣三君

(以上神戸市保育會提出)

○遊戲交換

一、花摘み、お早う

名古屋市保育會 吉備 保育會

二、あてごつこ、月の夜

京都市保育會

三、秋の野、槍ダンス

大阪市保育會

四、ヘチマ、野球

神戸市保育會

五、ニコニコ兔、銅像
の順序で最有益に、午後四時半閉會した。

○建 議 案

一、開 會
一、敬 禮

一、恩結法第九十九條第二項ヲ削除セラレタキ事
 二、市町村立幼稚園保母年功加俸ノ制ヲ新ニ設
 ケラレタキ事
 三、幼稚園令施行規則第十六條但書ヲ左ノ通り
 改メラレタキ事
 但月俸額ニ付イテハ園長及保母ハ本科正教
 員ニ準ス

が、十月十九日、さきの静岡縣保育會は解散式を
 あげつゝいて第一回保育部總會が左記順序にて女
 子師範學校講堂にて開催された。

一、君ヶ代

一、保育所感

(野々山きみ君)

一、教育に關する御沙汰書奉讀

一、所感

(岡 晴子君)

一、本部創立經過報告

一、講演

會澤タカエ君

一、役員承認

現代の幼稚園教育に對する批評

一、會長告辭

一、閉會

一、部長挨拶

○頌榮幼稚園並に保姆傳習所創立

一、諮問案

四十年紀念祝賀會とハウ女史幼稚

上特に留意すべき事如何（静岡縣）

園教育に對する記念講演會

一、幼兒各自の善美なる性情を涵養暢伸せしむるため保育

十一月四日午前十時より職員生徒一同にて祈禱會

一、協議題

を開く。

一、時代に鑑み幼稚園教育に於て質實剛健の芽生の養成に

つきて方案如何（中部提出）

一、健議案

一、年功加俸を小學校と同様支給せらるゝ様當局に建議す

同午後二時より頌榮幼稚園創立四十年紀念式。

一、臨時保姆養成機關の設置を其筋に建議すること（同）

一、奏樂

岡田文子君

一、幼稚園並託児所の普及振興に關し一層之が助成の途を

三、聖書朗讀 詩九十篇

一、講ぜられたきこと（本部提出）

一、君ヶ代

和久山キソ君

一、幼稚園並託児所專任指導員を置かれたきこと（同）

六、幼稚園史

在米ハウ女史、第二回、第三十六回、卒業生、父兄代表、祝電披露

一、研究發表

七、奏樂

瀬戸鈴子君

一、我園に於ける試みの一端

八、祝歌

園児一同

十、奏樂 吉田敬子君

十一、唱歌 水谷央君

十二、挨拶

十三、菓子配布の後一同庭にて記念撮影

十一月五日午前九時半より謝恩會、保姆傳習所卒業生有志發起にて創立以來勤續の和久山キソ氏、

二十六年勤續の三宅夏氏のために。

同午後二時より保姆傳習所の創立紀念式、

ハウ女史の人格と事業

布哇大學教授 原田助君

教育系統上幼稚園の地位

奈良女子高等師範學校長 横山築次君

右何れも非常の盛會であつた。

一、奏樂
二、讚美歌
三、聖書朗讀
四、祈

五、感想

ハウ先生と傳習所

幼稚園と傳習所

幼稚園と家庭

六、祝辭

七、祝辭 卒業生代表、父兄代表、祝電被露

來賓代表、

八、合唱

九、挨拶

同午後七時より記念講演會

傳習所	杉浦信子君
傳習所	南石千代君
傳習所	岡田靜枝君
傳習所	生徒

稟 告 定 規 文 注

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說
調査研究等の寄稿を歡迎いたします。
- 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字
下げる事と、また句讀點は一字あること。
- 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新
刊書、交換雑誌、入會手續、更に
本誌の購読及び廣告に關する通信並に照會等一切
左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
- 日本幼稚園協會
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵稅共）で願ひます。（郵
券代用の場合には總て一割増）
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七
二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何卷第何月號より第何月號迄と明記せ
られたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特
に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封
に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御
送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひ
ます。

告 廣	定 價
	一ヶ月分一冊 金參拾五錢 送料壹錢
	半ヶ月分六冊 金四圓貳拾錢 送料共
	一ヶ月年拾貳冊 金四圓貳拾錢 送料共
	(外國行郵稅は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
	昭和四年十一月十二日印刷納本
	昭和四年十一月十五日發行
幼兒の教育	第二十九卷第十一號
發行所	東京市麹町區飯田町二丁目五十番地 東京市麹町區飯田町二丁目五十番地
印 刷 所	編輯兼 堀 紋 七 藏
特等面一頁 金參拾圓	東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
一等面一頁 金貳拾五圓	日本幼稚園協會
二等面一頁 金貳拾圓	振替口座東京一七二六六番
一頁以下御斷	
神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。	

成城小學校訓導著
奧野庄太郎先生著

東西南北中
萬物皆有裂變

天の巻

地の巻

尋常

大禮記念出版
圖書館の爲め

折角子供の爲にかゝれたグリムやアンデルセンの童話なども其翻譯や翻案が雜誌を爲め結局大人の知能、子供の情緒、子供の徳性を培ふ源泉である筈です。童話は飽まで子供物語新選は徹頭徹尾、子供の爲めに用意された讀物です。極く平易な文章と用字で、特に子供の讀物として適切な活版と組方と研究して、たゞに其一字一句にも子供に対する対象としての親切さが満ち溢るのみす[小館は最早に世界、著名的の童話を紹介すべく研習室文庫を發刊し全國學校から多大の賞讃を得ました]が、本童話新選は右文庫中最も兒童に親切次第のもの數十篇づゝを擇び、優雅な藝術、堅牢無比の美本としに提供します。何卒各小学校、兒童圖書館並一般家庭に於て御大典記念として此の眞に子供に書かれた童話新選の御心備を希望します。

東西幼年書話新選

楓の卷 菊の卷

尋常年程度

定價各冊の體裁
各卷菊判全一冊死
總クロース洋紙
各卷紙數五百頁
各卷插畫四十宛
各卷彩色插畫四葉
定價二圓宛
各卷
送料廿七錢宛

兌發館文中 東京市牛込區良甲町三八四二七二番
贊振京東京三八四二七二番

廣島高等師範學校教授

文學博士 久保良英先生新著

**菊刊全一冊紙數六百頁插圖貳百餘
定價金六圓 送料金廿七錢**

最 新 刊

實驗心理學精義

復雜なる行動篇

読め――軽近
異常に進歩
せる我心理
學界を最も
有意義的に
具體化せる
一大金字塔

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である、日本唯一の施設兒童研究所を創設し銳意矻々として、實驗心理學の検討に餘念なし、著者は前篇簡單なる行動篇に對し複雜なる行動篇として本著を世に問ふ、即ち注意、識得、辨別、叙述と報告、聯想、記憶と學習等各章目の下に、その後の研究實驗の報告發表なるが、その編纂方法として前篇同様、質的量的兩者交互に説敘し未決の問題は之れを未決の問題としして貽し、且つその結果相背馳せるものに對しては決して獨斷的私見を取らず、終始貫一貫純正なる學者の立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所を周到懇切に詳述せるものなるを以て書中最新學說の充滿せる事は言を俟たず、且つ本著述の最も特異とする所は其の研究發表が、唯單に學的研究者、軍隊、工場管理者等の標的たるに止めず、本著述の外文檢受驗者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

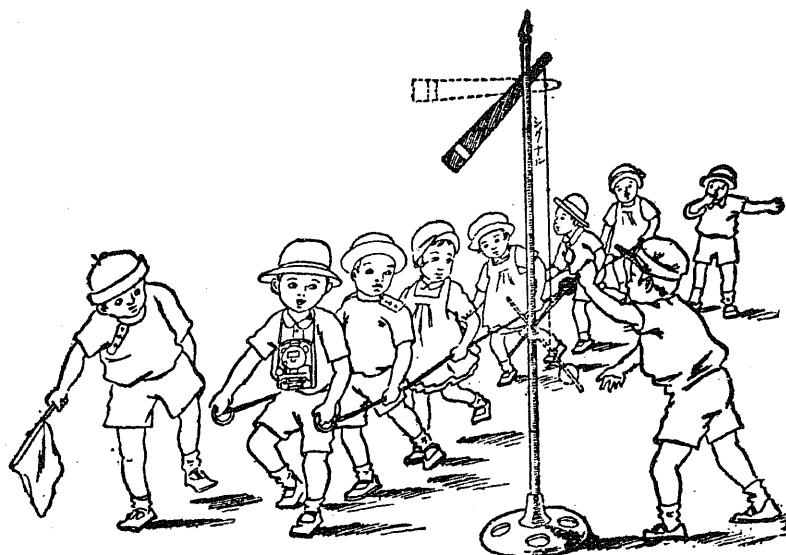
士學文
一陽野上
新著先

兒童心理學精義

上野先生心理學研究會を創設し斯學を研究する正に十年の間で忠實なる世間に定評あり今學童の如くして止まざりし本書は成れり本書は二十三章幾百節に分ち詳説精銳を加へ多數の挿畫を以て學者研究の材料に資すべく努めたる斯界唯一の良參考書なり學校教科書は必讀を乞ふ就中文檢驗驗者は是非精研研究すべき絶好の學驗資料である。

發行所東京市牛込四七二番五三三三電話牛込达四七二番七二三四八三京東替振

電車汽車遊び 一組 拾貳圓



上圖の如く、板に描いた電車、汽車を首にかけ、両手に紐を持つて、其の中に大勢の子供を乗せ、機關車の音をさせ乍ら、無限の軌道を走る愉快極りなき遊びです。

(昭和四年度カタ
ログ四五頁参照)

橋 一・田 神・京 教
内 館 會

株式會社

館 ルベーレフ

八三六三・七三六三・五四三段九話電

○四六九一 京東替振

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
毎月一回十五日発行

昭和四年十一月十二日印刷納本
昭和四年十一月十五日發行

定價三十五銭